

第七十回
帝國議會
貴族院

漁船保險法案特別委員會議事速記第一號

昭和十二年三月二十三日(火曜日)午前十一時二十七分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是カラ委員會ヲ開會致シマス

○山本米三君 森林火災ノ方ヲ質問サシテ戴キマシテ御差支アリマセスカ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 森林火災ノ方ヲ今日ハ議題ト致シマス

○山本米三君 ソレデハ私ハ森林火災國營保險法案ニ付キマシテ、質問ヲ致シタイト思ヒマス、森林ノ保護政策ノ一ツト致シマシテ、山村民ノ多年要望シテ居リマシタ本案ヲ提出サレマシタコトハ、誠ニ山村ノ爲ニ結構ナコトト存ズルノデアリマス、森林ハ水源ノ涵養ナリ、又治水、國土保安ノ上カラ見マシテモ、更ニ又山村民ノ經濟上ノ上ニ於テモ重要ナモノデアリマス、現時ノ森林ノ狀態ハ一般經濟界ノ不況カラ致シマシテ、山村ノ窮乏ハ實ニ深刻デアリマシテ、村民ノ負債ノ償却、生活ノ資金ヲ得ル爲ニ森林ノ伐採ヲ致スノデアリマス、又多クノ森林ヲ持ツテ居ル者ト致シマシテモ、木材價格ノ暴落ト租税ノ増徴ヨリ致シマシテ、税金ヲ作ル爲ニ濫伐ガ頻リニ行ハレマシテ、サウシ

テ伐採ノ跡地ニハ植林ノ出來ナイモノガ大變アルノデアリマス、是ハ木材ノ價格ガ他ノ物價ニ比ベマシテ著シク低イ爲ニ、此ノ林業ト云フモノガ經濟的ニ只今デハ引合ハナイコトニナツテ居ル爲デアルト思ハレルノデアリマス、斯様ナ狀態ガ年々進ムコトニ依リマシテ、山村民ハ全ク其ノ生業ヲ失フコトヲバ虞レルノデアリマス、即チ其ノ土地ニアリマス所ノ森林ハ、自己ノ所有ト否トニ拘ラズ、上ニ立ツテ居リマス所ノ立木ヲ伐リマシタ跡ニ、引續キ植林スルコトニ依リマシテ、山村民ハ生業ヲ保ツノデアリマス、只今ノ如ク伐跡ヲバ放置スルト云フコトニナリマス、アリマシタ所ノ山ニ出來ル所ノ物ハ雜木ト草トデアリマシテ、其ノ雜木ハ假ニ生長致スト致シマシテモ、先ツ薪炭ノ材料グラキノモノデアリマシテ、其ノ價格ト云フモノハ全ク御話ニナラヌノデアリマス、斯様ニ困難ノ狀態デアリマス上ニ、森林ニ随分ト色々ノ被害ガアリマシテ、或ハ風水害、雪害、其ノ中デ火災ガ最モ怖ロシイノデアリマス、折角資本ト勞力ヲ費シマシテ植エマシタ所ノ森林モ、一朝火災ニ遭ヒマスレバ、殆ド全損ニ

歸シマシテ、何物ヲモ留メヌノデアリマス、サウシテ資金ノ關係上、再ビ造林スルコトハ、山村ノ窮乏ノ折柄、容易ナコトデハゴザイマセヌ、トコロデ造林ヲバ容易ナラシメ、且林業ノ振興ニ資セムトスル所ノ本案ヲ御提出ニナリマシタコトハ、御趣意ニハ贊成ヲ致ス者デアリマスルガ、本案ニ付テ二三重要ナル點ヲ御尋ネ致シタイノデゴザイマス、本案ニ付キマシテ最モ重要ナル所ノ點ハ、第一ニハ保險料デアリマスガ、從來民間ノ保險會社ハ幼齡林ノ保險ハ致シマセヌノデアリマス、偶、アリマシテモ保險料ガ甚ダ高く、長期ノ經營ニ係ル林業ニハ適シナイノデアリマス、ソコデ山村民ハ長ク此ノ保險ノ官營ヲバ要望ラシテ居リマシテ、低廉ナル保險料ニ依ツテ此ノ目的ヲ達シタイト思フノデアリマス、トコロデ此ノ法案ノ建前ハ特別會計ニナツテ居リマス、即チ政府ニ於テ補給セムトスル所ノ方法ノヤウニ思ハレマスルガ、是デハ保險料ガ高クナルノデアラウト思フノデアリマス、此ノ困難ナル事業ヲ經營シテ行ク上ニ於テ、尙負擔シナケレバナラス所ノ保險料ガ高イト云フコトニナリマスルト、申込者ガ無クナルンデア

ルマイカト思フノデアリマス、申込ガ無クナルト云フコトニナレバ、折角ノ御趣意ニモ副ハヌコトニナリマス、私ハ此ノ參考書ニアリマスル保險料率ヲ見マシテ、甚ダ失望ラセザルヲ得ヌノデアリマス、政府ハ我が國ノ農山村經濟ノ現狀ニ鑑ミ、特ニ保險料ヲ低廉ナラシムルヤウニ努メタト申サレテハ居リマスル、成ルホド民間經營ノ保險會社ノ率ヨリハ稍、廉クナツテ居ルヤウデアリマスルガ、大體民間經營ノ保險會社ト此ノ保險契約ヲ致シテ居リマスルノハ、多クハ金融ノ爲ニ已ムナク申込ラシテ居リマス、長期ニ互リマスル所ノ林業トシテ、眞ニ火災ノ保險ノ目的ヲ加入シテ居ル者ハ少イト存ズルノデアリマス、ソコデ此ノ民營ノ山林ニ對シマスル保險率ハ是ハ比較ニナラスモノデアラウト思フノデアリマス、普通ノ保險料ト致シマシテハ、一千圓ニ對スル率ハ三圓乃至四圓クラキノモノデ、特ニ勉強ヲスル所ノ會社ハ二圓五十錢クラキデモ契約スルコトモ聞イテ居リマス、是等ト比較致シマスルト、勿論幼齡林ノ爲ニ危險ノ程度ガ多イト云フコトニ依リマシテ高クナルデアリマセウガ、是ハ相當補給セラレマシテ、保險率ヲバ一層

一

低クセラレルコトデナケレバ目的ハ達セラレナイヤウニ思ヒマスガ、政府ノ御意見如何デゴザイマスカ

○政府委員(井上龍太郎君) 保險料率が高

イト云フコトハ、林業者又ハ山林ノ現狀カラ見マシテモ、極力避ケナケレバナラヌ點デアリマスノデ、ソレ等ノ點モ考慮致シマシテ、此ノ保險ノヤリ方ヲ極メテ簡易ナヤリ方ニ致シマシテ、事務費等ノ掛ルコトモ少ク致シ、依ッテ保險料ノ減少ニモナルト云フ風ナコトニハ極力意ヲ用ヒタノデアリマス、御承知ノヤウニ保險料率ハ危險率カラ出テ參リマスノデ、其ノ點尙今後保險ヲ實施シテ參リマシテ、危險率ニ付テ又更ニ檢討ヲ加ヘテ參レバ、ソコニ變化ガ出テ參リマセウガ、現在ニ於キマシテハ、手續方面カラ考ヘマシテモ、極力勸誘ヲ致シマシテ低クナルヤウニト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、又保險料ニ付テ政府カラ何カ補給金ノヤウナモノデモ出シタラト云フ御尋デゴザイマスガ、此ノ保險ニ於キマシテハ、或程度ニ達シマスルマデハ一般會計カラ繰入金ヲ致シマシテ、此ノ保險ノ成立ヲ容易ナラシムルヤウナ措置ヲ特別會計ニ於テ執テ居ルノデアリマス、差上ゲマシタ參考書七頁ヲ御覽ヲ願ヒマス、其ノコトガ分

ルノデアリマスガ、初年度ニ於キマシテ、此ノ特別會計ガ約二十萬圓、正確ニ申シマスト、十九萬五千九百九十九圓ト相成ッテ居リマスガ、一般會計カラ繰入レマスモノハ、十五萬八千五百七十七圓、保險料ノ收入ハ三萬六千ナニガシト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、無論是ハ保險ノ始マル當初ニ於キマシテハ、加入面積モ少イノデアリマスカラ、獨立スルコトガ困難デアリマスガ、段々加入ヲ致シマシテ、先ヅ百萬町歩程度ニ達スレバ獨立シテ行ケルグラウ、ソレマデハ政府ガ或程度援助ヲシテ參ルト云フ仕組ニ致シテ居リマス、大體二十年間、是ハ内輪ニ見積ッテ居リマスガ、二十年間デ百萬町歩ニ達セサセタイト云フ考デ、一應ノ計算ヲ出シテ居リマス、併シ我我ト致シマシテ、ソレヨリ早く其ノ目標ニハ達シタイト考ヘテハ居リマス、其ノ二十年間ニ於キマシテ、一般會計カラ繰入ルコトヲ豫想致シテ居リマス金ハ約二百萬圓足ラズト云フコトニ相成ッテ居リマス、從ヒマシテ一般會計カラモ其ノ程度ノ援助ハ致シテ居ルノデアリマス、更ニ其ノ上保險料率ノ援助ト云フ風ナコトヲ、將來永久ニ致スコトニ付テハ今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ

○山本米三君 只今承リマス所ニ依リマスト、矢張り幼齡林ノ危險程度ガ多イト云フコトニ依リマシテ、保險率が高クナッテ居ルノデゴザイマス、是ガ少シク我々ノ考ト違フ所デゴザイマシテ、其ノ危險ノ程度ノ多イト云フ、政府ガ山村ノ窮乏ヲ救フト云フ意味ニ於テ補給サレルコトガ至當デナイカト思フノデアリマス、ソレデアリマセズシテ、唯繰入金ヲ以テ此ノ特別會計デヤッテ行カレルコトニナリマスルト、矢張り其ノ損害ヲ補給スルト云フ意味ニナラヌノデゴザイマスルカラシテ、勢ヒ危險ノ程度ノヒドイ幼齡林ニ對シマスル保險料ノ高クナルモノハ、是ハ至當デアルト思フノデアリマス、是ハコチヲノ希望デゴザイマスルガ、政府トシテハソコマデ御考ヘ下サル御方針デハナイノデセウカト云フコトヲモウ一應御尋ネ致シマス

○政府委員(村上龍太郎君) 火災ノ豫防ニ付キマシテハ、此ノ保險ノ施行ト共ニ十分努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、現在ノ政府ノヤッテ居リマスル火災ノ豫防ノ施設デハ、我々ハ十分ダト考ヘテ居ル譯デハナイノデゴザイマス、農林省ト致シマシテハ、火災ノ發生ヲ少クスルト云フコトニ付テハ、今後トモ十分力ヲ入レテ參リタイト思ヒマス、其ノ危險ノ發生ガ少クナレバ、自然又保險料モ下ッテ來ルト云フ結果ニナリマスカラ、ソレ等ノ點モ考ヘマスレバ、火災ノ豫防、又火災ガ出タ時ノ被害ヲ大ナラシメヌヤウニ消防ヲ十分ニスルヤウナコトヲ考ヘテ參リ、豫防並ニ消防ニ付キマシテハ、十分今後努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○山本米三君 只今火災ノ豫防ニ付テノ御話ガ出マシタノデ、チョットソレニ關聯シマシテ政府ノ御方針ヲ承リタイトデアリマス、火災ノ豫防ニ付キマシテハ、政府トシテハ無論御考ニナッテ居ルコトデハゴザイマセウガ、未ダ十分ナル施設ヲナサイマシタ所ハ見ヌノデゴザイマス、昨日モ御尋ガゴザイマシタノデゴザイマスガ、此ノ火災ノ豫防ト致シマシテハ、ソレノ地方ノ森林家ガ集リマシテ其ノ方法ヲ講ジテ、各村若シクハ大部落ヲ一區域ト致シマスル消防ノ結成ヲ致シマシテ、組合ヲ拵ヘテ、火災豫防、防止ノコトニ當ッテ居ル狀態デアリマス、何分經費ノ關係上ト致シマシテ、色々ト御指示ハアルノデハゴザイマスルガ、未ダ十分ナル施設ヲ致シテ居リマセヌデゴザイマスガ、今後何カ之ニ對シマシテ、具體的ナ御意見ヲ御持チニナッテ居ルノデゴザイマスカ、此ノ際御伺ヲ致シタイトノデゴザイマス

○政府委員(村上龍太郎君) 火災ノ豫防並

ニ消防ニ付キマシテハ、左様ナ名前ヲ持ッテ
費目ハゴザイマセヌガ、其ノ計畫ハ我々持ッ
テ居ルノデゴザイマス、未ダ豫算ト致シテ
ハ實現ヲ致シテ居ラヌノデゴザイマス、併
シ斯様ナル問題ハ正面ノ豫算ガアルカラ、
或ハ無イカラト云ツテ、其ノ儘ニシテ置ク譯
ニ參リマセヌノデ、現在ノ費用ニ於キマシ
テモ、其ノ費用ノ許ス範圍ニ於テハ、出來
ルダケノコトヲ致シテ居ルノデゴザイマス、
例ヘテ申シマスレバ、火ノ見櫓ヲ火災ノ多
イ地點ノ適當ナ所ニ建テル、ソレカラ電話
ヲ引イテ通報機關ヲ作ッテ置ク、例ヲ申上ゲ
マス、六甲山附近ニ農林省デ火ノ見櫓ヲ
持ッテ居リマス、ソレカラ又國有林ノ所在
方デアリマス、火災ノ豫防、或ハ消防ニ關ス
ル施設ヲ致シテ居リマス、其ノ施設ハ大イニ、
國有林ダケニ效果ガ及ブノデナクテ、附近ノ
民有林ニモ及ブノデアリマスガ、火災ノ危
險期ニ入りマスレバ、火災ノ警報ノ旗ヲ出
シ、又非常ナル危險ナ時期ニ入りマスレバ、
森林内ニ於テ火氣ヲ用ヒルコトヲ止メルト
カ云フ風ナ、色々ナ仕組ヲ現在ニ於テ致シ
テ居ル所モゴザイマス、又其ノ危險時期ヲ
測リマスノニ、現在デハ空中ノ湿度デ大體
我々ノ方デハ測ッテ居リマス、空中ノ湿度ガ

五十「パーセント」以上ニ落チマス、火災

警報ヲ出ス、三十「パーセント」以下ニ落チ
タ場合ニハ、炭焼等ノ仕事ハ一時止メル、
或ハ火氣ヲ用ヒナケレバナラヌ所ハ非常ナ
注意ヲスル、一般ノ従業員ヲ火災ノ起ツタ場
合ニ何時デモ消防ニ付ケラレルヤウナ方法
ヲ講ジテ置ク、或ハ火ノ見櫓ノ方ニモ注
意ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲ致シテ居リ
マス、又只今仰セノ消防ノ訓練ト云フ風ナ
モノモ局部的ニ致シテ居リマス、併シマダ
全國的ノ施設ニナッテ居リマセヌノデ、ドウ
カ之ヲ全國的ノ施設ニ致シタイト云フノデ、
計畫ハ持ッテ居リマス、又豫算トシテ成立ッ
テ居リマセヌノデスガ、其ノ豫算ヲ成立タ
スヤウニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
○山本米三君 火災ノ防止ニ付テデゴザイ
マスルガ、是ハ無論政府ニ於キマシテ御考
ヘ下サレテ居ルコトデゴザイマスルガ、此
處ニ一ツ見逃スコトノ出來マセヌコトハ、
山村ガ益、窮乏ニ陥リマシテ、其ノ所有シテ
居リマス山林ガ、他ノ手ニ多分移ルノデア
リマス、斯様ナ場合ニ於キマシテ、追々ト
此ノ山村ノ思想モ變リマシテ、兎ニ角以前
ハ昔ヨリ山ニ依ッテ自分ガ生活シテ居ルト
云フコトノ爲ニ、山ニ對スル所ノ非常ニ愛
著心ガアツタノデアリマスガ、近頃ドウモ其

ノ點ガ非常ニ薄クナッタヤウニ思ハレマスル

ノハ、今申シマス如ク土著ノ方ノ所有ニア
ルモノガ漸次ドウモ少クナリマシテ、他所
ヨリ御持チニナッテ居ルト云フモノガ殖エ
テ來タト云フコトガ一ツノ原因デモアリマ
セウガ、愛林ト云フコトノ思想ガ非常ニ、
只今ノ山村ノ青年ノ頭ニハ無クナッタヤウ
ニ思ヒマス、此ノ點ニ於キマシテ能ク御氣
付ニモナリ、著々其ノ御方針モ御執リニナッ
テ居ルコトハ思フノデアリマスルガ、是等
ノ點ヲ能ク御指導ヲ、御注意ヲ願ヒタイノ
デゴザイマスノデ、火災ハ有ラユル人ガ注
意ヲ致シマセヌト、到底防止スルコトハ出
來ヌノデアリマス、殊ニ又近來火災ノ頻々ト
起リマスルノガ、或ハ旅人ガ途中ニ巻煙草
ノ吸殻ヲ落シテ行クト云フヤウナコトニモ
原因致シマセウガ、一番原因ノ注意ヲ致シ
マセヌナラヌノハ、伐採跡ヨリ随分出ルノ
デアリマス、デハ大抵ノ場合山林伐採ヲ
致シマスル時ニ際シマシテ、其ノ木材ヲ買
ヒマシタ者ガ火災保險ヲ附ケル、サウシテ
事業ニ著手スル場合ガ多イノデアリマス、
斯ウ云フ時ニ際シマスルト、其ノ下ニ働イ
テ居リマスル所ノ人夫ナルモノハ、火災ニ
對スル所ノ注意ガ甚ダ薄弱デアリマス、又
之ヲ處理シテ居ル所ノ者ニ致シマシテモ、

燒ケテモ金ガ貰ヘルト云フ風ナコトニナル

ガ爲ニ、非常ニ火ヲ粗末ニスルコトガ原因
トナリマシテ、間々サウ云フコトカラ其ノ
附近ノ山ニ火ガ移ルト云フヤウナコトニナ
ルノデアリマス、是等ノ點ニ於キマシテモ、
十分ニ御注意ヲ御願ヒ致シタイト思フノデ
ゴザイマス、次ニ私ハ保險金額ノコトニ付
テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ保險金
額ヲ御定メニナリマシタ基礎ハ、跡地ニ再
造林ヲ爲シ得ルヤウニト云フ程度ニ於テ御
定メニナッタコトト思フノデゴザイマス、至
極御尤モナ御意見ト思フノデゴザイマス、
併シ是ハ全國的ニ苗木ノ費用或ハ之ヲ植エ
マス際ノ地アケノ費用ナドハ全國的ニ平均
ヲ取ッテ基礎ヲ御作りニナッタノデゴザイマ
セウガ、又之ヲ行ヒマスル上ニ於キマシテ
ハ之ヲ一ツノ標準ト致シマシテ、各地ニ其
ノ保險金ノ標準ナルモノヲ御拵ヘニナルノ
デゴザイマセウガ、其ノ點ヲ一應御伺ヒ致
シタイト思ヒマス
○政府委員(村上龍太郎君) 御答ヘ申上ゲ
マス、此ノ標準金額ハ大體再造林費ヨリモ
少シ低目ニ定メテ參ルノデアリマス、地方
ニ依リマシテハ造林ノ習慣ガ違ッテ居ル所
モゴザイマスノデ、多少其所ニ裕リヲ取ッテ、
地方ノ實情ヲ取入レテ考ヘナケレバナラヌ

カト考へテ居リマス

○山本米三君 サウ致シマスルト地方ニ依リマシテ造林費用ノ高クナリマシタ所ハ、聊カ迷惑ナコトニナリマスルシ、又安ク出来タ所ハ至極マア結構ナト云フヤウナコトニモナリマスルガ、併シ是ハマア全國的ニ御定メニナルコトデゴザイマスカラ、已ムヲ得ヌコトト致シマシテ、此ノ價格ヲ御定メニナルコトハ餘程御注意ヲ願ヒマセスト、昨日モ御話ガゴザイマシタ通り、此ノ國營ノ保險ガ出来タ爲ニ火災ガ餘計起ルト云フヤウナコトハナイカト云フ御質問モアリマシタガ、只今動産保險ガ随分行ハレテ居リマスルガ、是ガ随分危險デアリマシテ、實價以上ニ保險ヲ附マシテ、遂ニ保險金ヲ目ニ掛ケテ放火ヲスルト云フヤウナ、随分事例モアルノデゴザイマスカラ、此ノ保險金ナルモノハ必ズ實價ヨリハ少シク低イモノニシテ置カレルトコロノ必要ガアル、斯ウ云フ風ニ私共ハ實ハ考ヘルノデゴザイマス、多少ノ不公平モ已ムヲ得ヌコトト思ヒマスルガ、成ベクハ折角ノ此ノ保險金ニ依ッテ、再造林ノ出来マシヤウニ致ス必要ガアルト思ヒマスルノデ、少シク實際ニ當テマシテ引下ゲルノガ必要デヤナイカト思フノデアリマスガ、如何デスカ

○政府委員(村上龍太郎君) 此ノ標準價額ヲ定メマスノハ、大變意見ノ分レル所デアリマシテ、再造林ヲ容易ナラシメタイト申スコトカラ言ヘバ、出来ルダケ再造林費ニ近い、即チ高イ方ガ宜シイト云フコトニ相成リマスシ、又自分ノ植エタ山デアリマスカラ、ソレニ減多ニ火ヲツケルヤウナ者ハゴザイマスマイケレドモ、併シ又不心得ナ者ガ出来マシテ、保險金目當テニ火ヲツケルヤウナ不心得ナ者ガアリマシテモナリマセヌノデ、サウ云フ風ナ意味合カラ言ヒマスト、出来ルダケ低クシテ置イタ方ガ宜シイト云フコトニナリマスノデ、見方ニ依リマシテ是ハ意見ガ二ツニ分レルノデアリマシテ、ドウ定メルカ餘程ムツカシイ問題デアリマスガ、先ヅ大體ヲ粗ヒマシテ此ノ程度ガ宜カラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○山本米三君 只今ノ御説御尤モデアリマシテ、少シク低目ニ致シテ置ク方が私モ宜イヤウニ考ヘルノデアリマス、次ニ此ノ法案ガ林齡二十年マデニナッテ居リマスルガ、昨日モ此ノ擴張ニ付キマシテ御話ガアッタヤウデゴザイマスルガ、マア二十年以上ノモノハ民營ノ會社ニ委シテ差支アルマイ、斯ウ云フ御方針ノヤウニ思ハレマスガ、何

分民營ノ會社ト致シマスト保險ノ率ガ非常ニ高イノデアリマス、折角出来ル所ノ國營ノ保險デゴザイマスル以上ハ、是ハ擴張ヲシテ戴キマスル必要ガ大イニアルヤウニ思フノデゴザイマス、二十年ト申シマスルト、火災ニ罹リマシテハモウ全然何物モ残ラヌ、マアソレ以上デモ、四十年位デモ何等、是ハ委ハアリマシテモ、到底價額ニ載ルヤウナ物ハ残ラナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、火災保險ノ趣意ト致シマシテモ、少シ延バ必要ガアルト思ヒマスシ、又金融ノ圓滑ヲ圖リマス上ニ於キマシテハ無論デモアリマスルノデ、之ヲ少シ擴張ナサルトコロノ御所見ハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(村上龍太郎君) 民間デ現在ヤッテ居リマスル保險ノコトニ付キマシテハ、御手許ニ差上ゲマシタ十四頁以下ヲ御覽願ヒマス大體書イテゴザイマスガ、ソレニゴザイマスヤウニ、古イ會社ハ大正九年ノ十二月カラ始メテ居リマス、現在五社ゴザイマスガ、是等ハ多クハ幼齡林ニハ火災保險ヲ附ケテ居リマセヌ、壯齡林ニ附ケテ居ルノデアリマス、其ノ情況ハ十八頁ヲ御覽願ヒマスト書イテゴザイマスヤウニ、昭和九年ノ末デ約三萬九千町歩ホド附ケテ居ルノデゴザイマス、大正九年以後ズツト

ヤッタ事蹟ト致シマシテハ、森林火災ノ此ノ進展ノ仕方ガ思ハシイモノトハ我々見テ居リマセヌ、ソレニ致シマシテモ、現在壯齡林ノ方ニ付キマシテハ民間現會社ガヤッテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ事業ノ伸ビルヤウニ我々願ッテ居リマス、併シ今後ノ成行如何ニ依リマシテハ、林業者保護ノ見地カラ、殊ニ又森林擔保金融ノ點カラ云ヒマスレバ、假令金利ガ安イト云フコトニナリマシテモ、保險料ガ高イト云フコトニナリマスト、林業者ハ困難ヲ致スノデアリマス、今後ノ情勢ヲ見マシテ、此ノ範圍ヲ擴張スルコトニ付テ考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○山本米三君 次ニ……
○委員長(伯爵堀田正恒君) 山本君ニ伺ヒマスガ、長クナリマセウカ、長クナルヤウダツタラ……
○山本米三君 モウ終ヒテゴザイマスガ、皆サンニ……
○委員長(伯爵堀田正恒君) 晝カラニナスッダラ……
○山本米三君 結構デ、何時デモ……
○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハココデ休憩致シマス、休憩致シマシテ午後一時半カラ開キマス

午後零時三分休憩

午後一時四十七分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ開會致シマス、農林大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ、大臣ニ對シテ御質問ヲ願ヒマス

○山本米三君 折角農林大臣ノ御出席デゴザイマスノデ、私簡單ナ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、現時ノ林業ト致シマシテハ、山村ノ窮乏ノ爲メ、又一般經濟上ノ不況ノ爲ニ打擊ヲ受ケマシテ、年々濫伐ガ續キマシタ跡ニ、植林ガ放置サレテ居ル現狀ニアテモ御心配ヲナサレテ居リマスコトトハ思ヒマスケレドモ、此ノ林業國策ニ付テノドウカ御方針ヲ、此ノ際一ツ承ルコトガ出來レバ非常ニ結構ノコトト思ヒマス

○國務大臣(山崎達之輔君) 御答ヲ申上ゲマス、林業ニ付キマシテハ、是マデトテモ農林省トシテハ、相當ノ力ヲ用ヒテ居ル考デアリマスケレドモ、併シ一面ニハ木材ノ消費ト供給トノ釣合モ取レテ居ラヌ點モアリマスシ、尙又木材ノ需要ハ御承知ノヤウニ人口ノ増加、或ハ文明ノ増進ニ依ツテ益々増加致シテ行ク譯デアリマスノデ、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、森林行政ニ於テハ餘

程考ヘナケレバナラヌ點ガアルト存ジテ居ルノデアリマス、是マデハ國有林ニ付キマシテハ、大體伐採ヲ致シマスレバ、必ズ跡地ノ造林ト云フコトハ、滞リナク施行致シテ居リマスガ、民有林ニ付テハ遺憾ナガラ伐採スルノト、造林ガ伴ヒ得ナイヤウナ憾ミガ實ハアルノデアリマシテ、ドウシテモ民有林ノ造林計畫ト云フモノヲ立テマシテ、政府トシテ相當ノ助成ヲスルヤウナ方針ヲ執ルコトガ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、是マデノ所ハ、先ヅ山林治水ノ計畫ヲ、第二期計畫ヲ昨年漸ク立テマシテ、是デ例ヘバ水源涵養林ノ造林デアルトカ云フヤウナコトヲヤツテ參リマスノト、一方ハ今度ノ森林火災ト云フヤウナコトニ依ツテ、林地荒廢ヲ防グト云フ方法モ考ヘ、又此ノ木材ノ利用ト云フ方法ヲ少シ擴張シテ行クコトガ必要デアリマスカラ、其ノ意味デ御承知ノ瀾葉樹ノ利用研究ト云フコトヲ、兩三年前カラ開始致シタヤウナ次第デアリマス、併シナガラ此ノ程度デ以テ満足スル譯ニハ無論參リマセヌシ、ドウシテモ次ニハ民有林ノ造林ニ對シマシテ、國ガ一ツノ計畫ヲ立ツテ助成ヲスルト云フ段取ニ進ンデ參ラナケレバナラス、斯ウ云フ考デアル次第デアリマシテ、是ニハ直チ

ニ一ツノ案ヲ立テルヤウナ工合ニ進ンデ參リタイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○侯爵小村捷治君 私ハ只今ノ山林ノ方デナク、漁船ノ方デスガ、伺ツテ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 宜シウゴザイマス

○侯爵小村捷治君 我ハ漁船保險ノコトニ付テチヨット御質問申上ゲタイノデゴザイマスガ、昨日種々水産局長カラ御説明ヲ伺ヒマス、從來民間デ行ハレテ居リマシタ此ノ漁船保險ノ料率ニ比シテ、三割乃至五割、今度ハ安クナルト云フ御説明ダト存ジマスガ、サウ致シマスルト、民間ノ漁船保險ト云フモノハ、大體モウ二十年近クノ經驗ヲ持ツテ居ルト存ジマスガ、若シ是ガ行ハレ、バ、事實此ノ關係ノ民間ノ保險ト云フモノハ競争出來ズ、立チ行カヌコトニナリハシナイカト存ジマスガ、社會政策的ノ立法ハ固ヨリ結構ナコトデゴザイマシテ、私共贊成デゴザイマスケレドモ、民間ノ當業者ノ立場ト云フモノモ御考ニナツテ居ラルルコトトハ存ジマスガ、其ノ點何等カ賠償其ノ他ノコトガ設ケラレルノデゴザイマスカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイト存ジマス、ソレカラ昨日此ノ漁船保險、直接デハゴザイマ

セヌガ、之ニ關係シマシテ、世界第一ノ水産國タル我が國ニ於テ海難ガ頻發シテ居リマス、之ニ對シテ漁船ノ船體、漁具等ノ保險デナク、人命ヲ含ム生命災害ノ保險、即チ水難保險ト申シマスカ、海難保險ト申シマスカ、斯ウ云フモノガ現在民間ニ於テ行ハレテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒマシタ所ガ、全然斯カルモノガナイト云フ水産局長カラノ御説明ガゴザイマシタ、トコロガ私ルコトガハッキリ分ツタノデアリマス、サウ云フモノガ民間ニアルト云フコトガ……ソレハ私人デゴザイマスカラ、名前ヲ舉ゲルノモ如何カト思ヒマスガ、如何ニモ奇特ナ人デゴザイマスカラ……峰友菊助ト云フ人ガゴザイマス、此ノ人ハ殆ド損失ヲ願ミズ、此ノ海難保險ヲ個人的ニヤツテ居リマス、タツタ一人デヤツテ居リマス、事務所ハ「丸ビル」ニゴザイマスガ、此ノ人ハ私年來知人デゴザイマスケレドモ、其ノ事業トハ何等關係ガナイモノデゴザイマスカラ、其ノ人ガ何ヲヤツテ居ルカ、詳シイコトハ存ジマセヌデシタガ、何ダカサウ云フコトヲヤツテ居ルヤウニ思ツタカラ、昨日政府委員ニ伺ツタラ、全然民間ニハサウ云フモノハナイト云フ御話デアリマス、ソコデ私ハ腑ニ落チマセヌカラ、其ノ後會ヒマシテ私聽キマシタラ、正ニヤツテ居リマス、是ハ斯

様ナコトハ十分ニ御取調ニナツテ、民間ノ業ト雖モ、斯ウ云フ公益的ナモノニ對シテハ、何等カ助成スル御考ハゴザイマセヌデセウカ、此ノ點ニ御考慮ヲ願ヒタイト存ジマス

ガ、當局ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ承リタイト思ヒマス、右二點デゴザイマセウカ

○國務大臣(山崎達之輔君)

第一點ハ民間

會社デ漁船保險ヲ若干取扱ツテ居ルモノガアリマスコトハ、政府委員カラ申上ゲタ通リデアリマスガ、併シハ大型ノ漁船ニ若干アルコトデアリマスノデ、所謂小漁船等ニハ殆ド民間ノ保險ト云フモノハ行渡ツテ

ナイト申シテ宜イ程度ダト思ヒマス、今回ノ國營ノ保險ハ、主トシテ小漁船ヲ目標ニ致シテ居ル譯デアリマスノデ、此ノ制度ノ爲ニ民間ノ保險會社ニ打撃ヲ與ヘルト云フ

程ノ危険ハナカラウカト存ジテ居ルノデアリマスガ、尙其ノ點ハ細カク政府委員カラ補足ヲ致スコトニ致シマス、ソレカラ第二ノ點ハ政府委員トシテモ甚ダソレハ調ガ粗漏デアリマシタコトヲ深く御詫ヲ申上ゲマス

ガ、ドウシテモ漁船ノ保險ト共ニ、此ノ漁夫ノ保險ト申シマセウカ、災難ニ對スル相當ノ制度ト云フモノハ、是ハ續イテ考ヘテ行カナケレバナラスコトダト考ヘテ居ル譯デアリマスガ、左様ナ場合ニ民間ノ特殊ノ

方デ、左様ナ事業ヲヤツテ居ラレル者ニ對シマシテハ、是ハ相當ノ考慮ハ拂フベキダト存ズルノデアリマス

○松井茂君

農林大臣ガ折角御出マシデア

リマスカラ……今回森林火災國營保險法案ガ出マシタニ付キマシテ、此ノ場合ニ特ニ根本問題ヲモウ少シ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、此ノ森林火災ト云フコトニ付キマシテハ、一番根本問題ハ第一ガ國民ノ愛林思想ト云フモノガ發達セネバナ

ラヌト確ク信ズルノデアリマス、愛林思想ガ發達シタ基礎工事ノ前提ノ下ニ、此ノ保險ト云フモノハナクテハナラヌト存ジマス、其ノ根本問題ガシツカリシテ居ナケレバ、本末如何ナモノデアラウカト存ジマス、第二ニハ森林ノ火災豫防ト云フ點ガ一ツシツ

カリト確立セネバナラス、第三ハ森林消防ト云フモノガ向上發展セネバナラス、此ノ三ツノ前提ノ下ニ森林火災保險ト云フモノハ立脚セネバナラスト思フノデアリマス、ソコデ先ヅ第一ノ愛林思想ト云フコトデア

リマスルガ、我方國デモ吉野ノ山ノ如キハ餘程昔カラ御山ヲ愛スルト云フ思想ガアリマシテ、故ノ戸倉惣兵衛氏ノ如キハ、非常ニサウ云フ點ハ注意シテ居ツタト承ツテ居

マス、又吉野ノ人ハ家モ大事デアアルガ御山

ホド大事ナモノハナイト云フ思想ガアツテ、大變日本ノ家庭、國家トシテサモアルベキコトト思フノデアリマス、併シ日本ガドウ

モサウ云フ思想ガ乏シイ、昔カラ靜岡縣ノ田方郡ノ如キハ、山林ニ非常ニ火事ガ多ク、山ノ値段モ下ツテ非常ニ安イ、近年餘程此ノ思想ガ發達致シマシタカラ、山火事モ少クナリ、田方郡ノ山ノ値段ガ高クナツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、他所ノ國デハ例

ヘバ「ドイツ」ヤ「スイス」ナドハ、餘程此ノ愛林ノ思想ガ進ンデ居ルノダラウト存ズルノデアリマス、此ノ愛林思想ニ付キマシテ農林省ノ根本方針如何、第二ハ此ノ火災豫防ノ問題デアリマスガ、是ハ一般火災デモ同様デアリマスガ、日本デハ火災ノ原因ト云フモノハ頗ル不明ノモノガ多イノデゴザ

イマス、統計モ不確實ナンデアリマス、山林火災モ同様デアリマシテ、原因ガ分ラナケレバ何モ出來ルモノデヤナイノハ言フ迄モナイノデアリマス、併シ是迄ノ一般ノ取調ノ結果ハ山林火災モ不注意ノ火災原因ガ最モ多ク、就中焚火ノ不始末トカ、殊ニ煙草ガ最モヨクアルヤウデアリマス、吹殻ガ……其ノ外又ハ山林火入レノヤウナ、是

ハ公知ノ事實デアリマスガ、ソコデ特ニ承ツテ置キタイノデアリマスガ、此ノ頃或雜

誌ヲ見マスト、農林省ハ斯ウ云フ方面ニ餘程御注意ニナルヤノ御計畫ガアルカノ如ク、觀測所ト云フモノモ湿度ノ……、山林火災ニハ此ノ湿度ト云フモノガ大變大事デアツテ、其ノ觀測所ノ計畫ナドヲ御作リニナルカノ如ク承ツタノデアリマスガ、サウシテ其處ヘ湿度計ヲ設ケテ、サウシテ更ニ信號所ノヤウナモノヲ設ケテ、其ノ湿度ノ程度ニ依ツテ例ヘバ湿度ガ五十「パーセント」

デアアル以下ノモノハ乾燥状態ガ變ツテ來マスカラ、ソレニ依ツテ赤ノ信號ヲ立テルトカシテ危険信號ヲスル、サウシテ大イニ警告ヲシヤウト云フヤウナ火災豫防ニ御注意ニナル御計畫ガアルトカト云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ方面ガ發達スルコトハ大變ニ宜イト思フノデアリ

マス、又望樓ノヤウナモノモ山ニ設ケルト云フコトハ大變必要デゴザイマセウガ、殊ニ御承知デモアマリマセウガ、樺太ハ我が國ニ於テ山林火災ガ最モ甚ダシク、甚ダシキハ二十日モ一月モ、雨ガ降ラナケレバ其ノ火ガ消

エナイ、所ガ先年昭和八年デアリマシタカ、閑院宮若宮様ガ御出ニナリマシテ、大宮様モ餘程消防ノコトニ御詳シイノデアリマスガ、豫

テ樺太ハ非常ニ山林火災ガヒドイト云フノ

デ、樺太長官ニモ御注意モアツタ所ガ、非常

ニサウ云フ點ハ注意シテ居ツタト承ツテ居

ニ皆ガ恐縮致シマシテ、大宮様ニモ若宮様ガ御話ニナリ、閑院宮殿下ノ方カラ御下賜金モアリマシテ、非常ニ樺太ノ官民共ニ非常ナ感激デアリマシテ、其ノ結果デアラウト存ジマスガ、樺太ノ方ハ近來ハ非常ニ愛林思想ナリ、火災豫防ト云フモノガ見ルベキモノアルカノ如ク承テ居リマス、又我が國トシテハ比較的ニ多額ノ金モ使ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ工合ニ農林省ナドデシツカリナサレバ、矢張り著々效果ガアラウト思フノデアリマス、又北海道モ近來御注意ニ依ッテ、大變森林火災ガ減ジカ、ツクヤウニ思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ山林ニツク火災豫防ニ付テノ御方針ヲ第二ニ承リタイ、第三ニ承リタイノハ山林消防ノ問題デアリマス、御承知ノ通りニ山林火災ハ米國ガ世界デ一番甚ダシイノデアリマス、是ハ森林火災、バカリデナク、一般ノ火災モ米國ガ世界第一デアリマス、其ノ次ハ日本デアリマス、一般火災モ森林火災モ……、ソコデ此ノ間農林大臣ノ御話ニ、府縣有ノ林ダケデモ一萬町歩モ火災ニ罹ル、殊ニ幼齡林ガ最モ多イト、サウデゴザイマセウ、ソコデ實際國有林ノ重モナル仕事ハ山林消防ガ一番多イノダラウト思フノデアリマス、山梨縣ノ如キハ夙

ニ山林課ナドモ置キマシテ、之ニ依ッテ餘程警戒モ昔カラヤッテ居ルノデアリマス、トコロガ先刻申スヤウニ、一般ノ火災統計ガ怪シイノガアルノデアリマスガ、此ノ林野消防ニ最モ關係ノアル、此ノ火災原因調査ト云フコトガ火災豫防トモ關聯シマスガ、最モヨク注意セヌ限リハ豫防モ出來マイト思ヒマス、ト云フヤウナ情況デアリマスルデ、此ノ山林消防トシテハ、此ノ森林ノ放火ノ如キ問題モ、今カラ餘程注意ヲ拂ハネバナラヌト存ジマス、御承知ノヤウニ一般火災ニ付テモ放火ガ非常ニ多クナッテ居ルノデアリマスガ、近來少シ減ツタヤウデアリマスガ、ソレニ森林法ノ八十九條ニ放火ノコトハ規定シテアルノデアリマスガ、失火罪ノ方ハ別段規定ガナイノデ、或時代ニハ名ヲ放火ニ藉リマシテ、サウシテ自分ガ失火ヲヤリナガラ逃ゲタリシヤウナコトモ隨分アルノデアリマスガ、是デハイカスト云フノデ、大正ノ初メ頃一般刑法ノ百十六條ニ依リマシテ、サウシテ公共ノ危害ト云フコトガ火災ニ因ッテ發生スル以上ニハ、刑法ノ規定ニ依ッテ之ヲ罰シナケレバナラヌト云フコトデ、幸ニ之ニ依ッテ罰スルコトニ失火罪モナツタヤウデアリマスガ、……サウ聞イテ居リマスガ、ソレモ左モアルベキコ

トト思フノデアリマス、ソレデ樺太ノ例ニ依ッテモ、又北海道ノ例ニ依ッテモ、又近クハ神戸ノ諏訪山ナンカモ隨分山林火災ヲ出スノデアリマスガ、此ノ頃餘程氣ヲ付ケマシタノデ、近來ハ神戸ノ諏訪山ナンカモ山林ガ燒ケナイコトニナリマシタ、是ハ消防ナンカモ餘程良ク行ツタカラダラウト存ジマス、要スルノニドウモ其ノ一般消防隊トソレカラ山林ノ方ノ方面トノ關係、内務省ト農林省トノ連絡提携、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテ、消防ノ器具ノ問題、防火線トカ云フヤウナ色々ノ點ナンカニ付キマシテ、マダノ實ニ不完全極マッテ居ルノデアリマス、御料林ノ方ニ於テモ夙ニ、本田博士ガ生キテ居ラレル時ニ、木會ノ山林ナドニモ、器具ニ於テモ大分大キナ器具ナドモ置イタヤウデアリマスガ、マダノ不完全デアリマス、ドウモ米國ナドハ斯ウ云フ點ニ付テ大々的ノ組織ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、我が國ハ斯ウ云フ點ガ餘程遅レテ居ル、又「ドイツ」アタリデモ御承知ノヤウニ餘程具體化シテ居ルヤニウ聞イテ居ル、木ノ種類ナドニ依ッテノ調ヲ致シマシテ、餘程具體化シテ居ル、ソコデ斯ウ云フ林野消防ト云フコトニ對シテノ農林省ノ御方針ガドウデアラウカ、最後ニ本案ノ火災

保險デアリマスガ、火災保險ト申シマスルノハ言フマデモナク國民アッテノ保險デアリマス、英國ノ一般消防ノ如キモ、火災保險カラ消防ガ發達シタヤウナ歴史ヲ持ツ位ニ、火災保險ト云フモノノ性質ガ、火災ノ損害ヲ補填スル性質ナンデアリマスルカラ、非常ニ必要ナモノニハ相違ナイノデアリマスルガ、先キニ申シタ三點ニ非常ニ關係ヲ及ボスコトト思フノデアリマス、火災保險ニ付テハ只今山村ガ非常ニ疲弊シテ居リマス、殊ニ山林ハ非常ニ地味ナ仕事デアリマス、百年ノ大計デアアル、ソレデ此ノ火災保險ヲ御ヤリニナルニ付テハ、造林ヲシテ容易ナラシメルト云フ深イ思召カラ立法サレタコトト思ヒマス、殊ニ幼齡林ノ火災ガ多イト云フコトデ、ソレヲ目安ニサツタノデアアルヤウデアリマスルガ、此ノ保險ノ方ニ付キマシテハ段々御説明モ承ッテ、此ノ中ニモ種々ノ問題モアルヤウデアリマスルガ、是等ハ先ヅ此ノ林齡二十年以下ト云フヤウナ立法ハ、最モ適當デアアルマイカト思ッテ居ルノデアリマスガ、殊ニ官憲……市町村ヤラ府縣廳ト云フモノニ、政府カラ保險事務ノ一部ヲ取扱ハシメルヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスルガ、此ノ官憲ヲ餘程ヨク御薰陶ニナラヌト……、我々モ官憲

ノコトニハ多少ノ經驗ヲ有テ居ルノデア
リマスガ、餘程是ガ重大ナル責任ガアラ
ウト思フ、又萬ガ一、折角保險法ガ出來ル
ノ……、山林業者ナドト云フモノハ最モ

ラ、幸ヒニ農林大臣ガ御出席デアリマスカ
ラ、大體ノ御方針ヲ承リタイ
○國務大臣(山崎達之輔君) 松井サンノ御
意見ハ非常ニ御尤モニ拜聽シマシタガ、第

リタイト存ジテ居ルデアリマス、第三ノ
消防デゴザイマスガ、是ハモウ誠ニ大切ナ
コトデアリマスケレドモ、是モ現在ノ所ハ
マダ甚ダ不十分デアリマスノデ、此ノ點ニ

タイト思ヒマス、船舶保險ノ方デアリマス
ガ、我が國ハ言フマデモナク世界ニ稀ナル
所ノ海産國デアリマシテ、日本ノ漁業ノ産
業ト云フモノハ他ニ比類ノナイ産業デアリ

質實剛健ノ精神ヲ傳統的ニ持ッテ居ルノデ
アリマスガ、此ノ邊カラ保險詐欺ト云フ
ヤウナ、聞クモ忌ハシイヤウナコトガ出タ
ラ、容易ナラヌ問題デアリマス、是等ノ點

一ニ愛林思想ノ普及ハ非常ニ大切ナコトデ
アリマシテ、三四年前カラ御承知ノヤウニ
四月三日ヲ中心トシマシテ、前後三日間
ヲ愛林日ト云フヤウナコトニ致シマシテ、

ハ今後出來ルダケ一ツカヲ入レテ参リタイ
ス様ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、大體
松井サンノ御意見ニハ全ク御同感デゴザイ

マス、ソレデ番ニ我々國民ノ生活ノ資料ヲ
供給スルバカリデナク、其ノ食料タルヤ、
代フルニ家畜ノ肉ヲ以テシタナラバ、非常

カラ國民思想ニマデ影響致シマスノデ、保
險金額ノ問題ノ如キモ、衆議院デモ亦本會
デモ、段々御質問モアツタラウト存ジマスガ、

マア一ツノ愛林思想普及ノ運動ト云フヤ
ウナコトニ致シテ居ル譯デアリマスガ、是
等ノ點ニ付キマシテハ今後モ益、努力ヲ拂
フベキコトダト考ヘテ居ルデアリマス、

フコトヲ、御承知ヲ願ヒタイト存ジマス
○松井茂君 尙最後ニ此ノ火災保險ノ業務
者ト消防關係ナドトノ連絡提携デアリマス、

イト云フヤウナ重要ナル仕事ヲ、比較的少
數ノ人間ガ死ヲ決シテ働イテ居ルノデアリ
マス、之ニ對シテ政府トシテ今日迄下ンナ

レバナラス、又安クスルノニハ政府ガ補填
ヲセニヤナラナイ、又補填ノ方法モ段々ト
具體化スレバ、後ニハ特別經濟ニシヤウト

ソレカラ第二ニ、火災豫防ノコトデゴザ
イマスガ、大體御承知ヲ願ッテ居ルヤウデア
リマスガ、近頃農林省ニ於キマシテモ非常

テ、商工省ノ火災保險ノ方ト、内務省ノ方
ノ火災豫防、消防ト云フヤウナ點ガ、外國ニ
比ベテマダ餘程缺ケテ居ルデアリマス、

モノガアツタヤウデアリマス、此ノ度船舶保
險法案ヲ御提出ニナリマシテ、稍、其ノ缺陷
ヲ補ハレタヤウデゴザイマスルケレドモ、

云フコトモ御尤モナ案ト私ハ思フノデアリ
マス、又保險金額ト云フモノモ相當高イ所
ニセナケレバナリマセスケレドモガ、併シ

ニ其ノ必要ヲ感ジマシテ、マダ不十分デハ
アリマスガ、火災報知器ノ設置ヲ努メテ居
ルヤウナコトデアリマシテ、ソレニハ御承

ソコデ、此ノ山林ノ保險モ是ガ幸ニ出來ル
コトニナリマスレバ、餘程將來トモサウ云
フ方面トノ連絡提携ト云フコトニ付キマシ

肝腎ナ人的保險ノ方ガ疎カニナッテ居リマ
シテ、又現在民間ニ於テサウ云フ篤志ナ方
モアツテ、辛ウジテヤッテ居ラレト云フコ

此ノ爲ニ萬一弊害ヲ生ジタラ大變デアリマ
スカラ、是モ申上ゲルマデモナイコトデア
ル、サウ云フヤウニ考ヘタ時ニハ、此ノ立

知ノヤウニ矢張り空中ノ濕度ヲ調べルトカ、
其ノ模様ニ依ッテ信號ヲ出ストカ云フヤウ
ナコトヲヤッテ居ル譯デアリマス、併シマダ

テ、一層ノ御留意ノ程ヲ御願ヒ致シテ置キ
タク存ジマス、是ハ別ニ御回答ヲ願フノデ
ハアリマセヌ、念ノ爲ニ申上ゲタノデアリ

ルト云フヤウナコトハ無論必要デアリマス
ルガ、大體此ノ庶政一新ト言ヒマシテモ、
今マデ此ノ海國デアル所ノ日本ノ國ノ、水

法ハ大體ニ於テ餘程適當ト思フノデアリマ
スルガ、私ノ吳々モ心配致シテ居ルノハ、

ナコトヲヤッテ居ララスコト
アリマシテ、廣ク普及ヲ致シテ居ラスコト
ハ甚ダ遺憾デアリマスガ、是ハ十分豫算上

マシタケレドモ、尙重ネテ大臣ニ御質問シ
カラ、此ノ間モ政府委員ニハ御質問ヲ致シ

ニ思フノデス、ソレデ英國ト日本ト云フノ
ガ二ツノ島國デアリマスケレドモ、英國ト

其ノ先決問題ノ三ツノ點デアルノデアリマ
ス、斯ウ云フコトハ皆關聯シテ居リマスカ

ノ關係ニ努力ヲ拂ヒマシテ、成ルベク早く
斯様ナ火災ノ豫防ニ關スル設備ノ普及ヲ圖

○男爵井上清純君 折角大臣モ居ラレマス
カラ、此ノ間モ政府委員ニハ御質問ヲ致シ

ニ思フノデス、ソレデ英國ト日本ト云フノ
ガ二ツノ島國デアリマスケレドモ、英國ト

日本トハ成立チガ餘程遠フノヂヤナイカト
思フノデス、英國ノ方ハ「スペイン」ノ半島
ヲ切ツテ、海中ニ少シバカリ離シテ置イタヤ
ウナ國デアリマスガ、日本ハサウデナク、
東北カラ西南ニ掛ケマシテ、二千餘「マイ
ル」ノ蜿蜒タル鎖ノヤウナ海洋島國デアリ
マシテ、海洋國トシテハ日本ヲ置イテ此ノ
ヤウナ國ハ他ニナイノヂヤナイカト思フノ
デアリマス、サウシテ太平洋ニ浮ンデル所
ノ一ツノ船ノヤウナ國ヂヤナイカト思フノ
デアリマス、ソレ故海洋ニ浮ンデ居ル島國
トシマシタナラバ、水産立國ト云フヤウナ
コトヲ土臺ニシテ色々ナ國策ガ立タナケレ
バナラナイノニ、ドウモサウデナクシテ、
矢張り大陸ノヤウナ氣分デ國策ガ今日マデ
運行サレテ居ツタヤウニ考ヘルノデアリマ
ス、此ノ點ニ付テ農林大臣ノ御考ヲ御聽キ
致シタイノデアリマスガ、農林省ト云ツテ
モ、名モ水産ノ方ガ缺ケテ居ル、サウ
云フヤウナ名前サヘ拔ケテ居ルト云フ
ヤウナコトモ、實體ヲ重ンゼラレナイ證據
ニナルノヂヤナイカト思フノデアリマス、
大キク言ツタナラバ水産省ト云フモノヲ別
ニ設ケラレナケレバナラヌ位ナモノヂヤナ
イカト思ヒマス、併シナガラソレニ從事シ
テ居ル者ハ比較的少イノデアリマスケレド

モ、且又沖ニ出テ居ル人多イ爲ニ、其ノ
聲ハ餘リ政治家ノ頭ノ方ニハ響カヌ爲ニ、
今日マデ比較的等閑ニ付セラレテ居ツタヤ
ウナ氣ガスルノデアリマス、僅カナ人間デ
以テ何億ト云フ生産ヲ生ミ出シテ居ルノデ
アリマスカラ、少クトモ此ノ省ノ名前中
ニモ水産ト云フコトヲ謳ハナケレバナラヌ
ト云フコトガ一ツデアリマス、モウ一ツハ
船舶保險ト云フモノヲ大キナ船ニ行渡ラス
ト云フ考モナイノデゴザイマスケレドモ、
併シ其ノ限界ガ甚ダ茫漠タルモノデアリマ
スカラ、是ハ二三「トシ」以下、或ハ二十
「トシ」以下、斯ウ云フヤウナ規定デモ御設
ケニナル御意思ハナイカ、此ノ二點ダケヲ
伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ附加ヘテ申
上ゲマスガ、モウ一箇條ハ、唯船舶ダケノ
保險、斯ウ云フモノダケヲ貴族院ガ默ツテ通
シタト云フノデハ、貴族院ノ本來ノ立場ト
シテ甚ダ不純ダト考ヘマスカラ、ドウシテ
モ來年度ニ於テハ此ノ人間ノ方マデノコト
モ立法サレルト云フヤウナ、御考ヲ御有チ
ニナツテ居リマスレバ、明確ニ御答ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○國務大臣(山崎達之輔君) 御説ノヤウニ

水産業ハ幸ニマア世界デ第一ト言ハレル位
ノ程度ニ發達シテ居ルコトデアリマシテ、

我が國ノヤウナ面積ノ狭小ナ國柄トシマシ
テハ、大イニ水産業ノ世界的發展ニ待ツ所
ガ非常ニ大キイ譯デアリマス、水産業ニ對
シマシテ、國トシテモ其ノ發展ニ大イニ力
ヲ入レテ行カナケレバナラヌト云フコトハ
是ハ全ク御同感デアリマス、農林省ト云フ
名前ヲ或ハ農林水産省ト云フ風ニヤツタラ
ドウカト云フヤウナ御意見モボツク伺ッ
テ居ル譯デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシ
テハ、マダ的確ナ意見ヲ申上ゲル運ビニハ
至リマセスケレドモ、謹ンデ其ノ種ノ御意
見ヲ拜聽致シテ居ル所デアリマス、其ノ次
ノ今回ノ漁船ノ保險ニ付キマシテ、小漁船
ヲ主トスルト云フコトデアアルカラ、寧ロ「ト
シ」數ノ制限ヲ明瞭ニシタ方ガ宜イト云フ
御意見デゴザイマスガ、大體當局トシテハ
百「トシ」未滿位ヲ目指シテ居ル譯デアリマ
シテ、之ヲ嚴格ニ法デ制限スルト云フコト
ハ如何カト存ジマス、ケレドモ方針トシマ
シテハ、其ノ程度ヲ限界トシテ考ヘテ居ル
次第デアリマス、最後ノ船ニ對スル保險ノ
制度ハ出來タガ、人的保險ノ方ヲ考ヘナケ
レバナラヌヂヤナイカト云フ御意見ハ、是
ハモウ誠ニ御尤モデアリマシテ、當局トシ
マシテハ、此ノ後引續キ其ノ問題ノ解決ニ
努力ヲ致ス積リデアリマスカラ、左様御承知

ヲ願ヒマス

○松村眞一郎君 私(只今井上男爵ノ御述

ベニナリマシタ水産省ト云フ名稱ト云フコ
トト實ト、相伴フ關係ガ大切デアルト云フ
御話ニ全然共鳴致ス者デアリマス、元來庶
政一新ト稱シ、行政機構ノ根本的檢討ヲ爲
シテ、茲ニ力強キ施設ヲセラレルト云フ際
ニハ、日本トシテノ特色アル此ノ方面ニ對
シテノ經費ヲ充實シ、其ノ施設ニ對シテ格
段ノ努力ヲセラレルト云フコトガ最も大切
ナコトヂヤナイカト思フノデアリマス、日
本國民ノ獨得ノ方面ニ付テノ施設ハ、他ノ
方面ノ施設ヨリモ此ノ際積極的ニ力ヲ入レ
ルト云フコトヲ、國務大臣トシテハ特ニ御
考ヲ願ヒタイト私ハ思フ、日本ノ特色何レ
ニアリヤト云フコトニナレバ、是ハ海國日
本ト云フコトハ何人モ先ヅ著眼スル所デ
アツテ、今日海運ニ於テ三大國トナツテ居
ル所以モ其ノ點ニアルト思フ、産業ニ於テ
モ亦其ノ方面ニ於テ進出スルト云フコトニ
依ツテ、初メテ日本ノ面目ガ躍如トナルモ
ノデアルト私ハ思フノデアリマス、元來農
林省ト云フ名前ヲ附ケタト云フコトガ、極
ク簡單ニ其ノ際出來テ居ルノデ、深ク名稱
ニ付テ考慮サレタノデハナイノデアリマシ
テ、農商務省ヲ分ツカラ、ソコデ農商務省

ノ中ノ局ノ順序ナドヲ申シマス。ト云フト、商工ニ殘ルモノハ商務局、鑛山局、特許局ト云フモノガアルカラ、ソコデ商工省トシテ置ク、農林省ノ方ハ農務局、山林局、水産局、畜産局ト云フヤウナ譯ダカラ、農林省トシテ置カウ、斯ウ云フヤウナ意味デ出来タノデアツテ、深ク實ト名トヲ伴フト云フヤウナ意味、又今日非常ニ眞面目ニ考ヘラレテ居リマス所ノ行政機構ノ内容ト云フヤウナ方面カラ生レタモノデハナイノデアリマス、極ク簡單ニ其ノ際ニ生レタコトハ、當時ノコトヲ能ク御承知ノ大臣ニ於テ御了解ノコトト思フ、サウデアリマス。ト云フト事極メテ簡單ナヤウデアリマス。ケレドモ、非常ニ名前ハ大切デアリマス、只今井上男爵ノ仰セラレタガ如ク、英國ヨリモ尙進シデ日本ハ海國デアアル、其ノ英國ノ如キモノモ農漁省ト云フ名稱ヲ以テ「アグリカルチュア・エンド・フィッシヤリー」ト云フ名前デ以テ行政施設ヲヤツテ居ッテ、其ノ大臣ガ居ル、廣イ意味ニ於テノ農ノ中ニハ山林ガ入ッテ居ル、併シナガラ全然水産ハ、勿論文化ノマダ發達シテ居ナイ際ニハ、矢張り農ノ一部トシテソレハ考ヘラレテ居ッタクデアリマス。ケレドモ、山林ヲ農ノ一部ト見ルヨリモ、漁業ヲ農ノ一部ト見ル方ガ何人ガ見テ

モ無理デアアルコトハ明瞭デアリマス、デサウ云フ場合ニハ水産ト云フモノヲ標榜シテ國家ガソコニ立ツト云フコトガ、非常ニ私ハ大切ナコトデハナイカト思フ、元來前内閣モ現内閣モ、都市農村ノ負擔ノ均衡ト云フコトヲ論ゼラレテ居ル、是レ國民全體均等ニ仕事ヲシテ行カウト云フ意味ニ考ヘラレル、然ラバ一産業ト他産業トノ、國家ノ保護ナリ助長ナリガ均衡ヲ得テ居ラナイ場合ニ於テハ、此ノ均衡ヲ得サセルト云フ意味ニ於テモ、現内閣ハ考ヘナケレバナラス問題デアルト思フ、現在漁業、水産業ト云フモノハ農業ト比ベテモ非常ニ保護ノ薄イト云フコトハ、是ハ何人モ認メテ居ル、都市農村ト云フコトノ問題ガ考ヘラレルナラバ、水産ト云フモノヲ慘メナル状態ニ置イテ、唯聲ナキガ故ニ唯之ヲ放置シテ置クト云フヤウナコトガ、果シテ國民全體ニ對シテ各ノ所ヲ得サセテ居ルモノデアアルカドウカト云フコトハ、少シク政治家トシテ眞面目ニ考ヘラレタナラバ……何モ大臣ガ眞面目デアナイト云フ意味デハアリマセスケレドモ、ドウシテモ其ノ問題ニ觸レザラ得ナイ、元來日本國民ノ特色ハ何處ニアリヤト言ヘバ、其ノ積極進出ト云フコト、平和的積極進出ト云フ所ニ我々日本國民ノ要點ガアル

ト思フ、積極進出、平和的ニ進ムト云フコトハ、漁業ニ於テハ私ハ表現サレテ居ルト思フ、漁業ト云フモノハ人ノ領土ニ向ッテ突進スルノデハナイ、公海ニ向ッテ突進スルノデアル、而モ日本ハ平和主義デアルト云フコトハ、領海ト云フモノヲ成ルベク狭クシテ、公海ヲ廣クスルト云フ意味ニ於テ、ズツ傳統的ニ主張シ來ッテ居ルノデアリマス、領海三海里主義ト云フコトデ一貫シテ居ル、サウ云フヤウナ工合デ以テ、廣ク平和的ニ他ノ領土ヲ侵スコトナク、積極的ニ進出シテ行カウト云フ所ニ、日本國民ノ本當ノ意義ガ、漁業ノ振興ト云フ所ニ於テ、私ハヨク表徵サレルコトデアラウト思フノデアリマス、デ農林省ノ所管ノ仕事ハ、總テ日本國民性ノ特徴ヲ發揮シ得ルヤウナ工合ノモノガ、幸ニシ總テ網羅サレテ居ル、實質剛健ノ思想ハ農業ニ依ッテ表徵サレテ居ルト私ハ思フ、山林ニ依ッテ祖先崇拜、子孫愛護ノ家族制度ノ思想ハソコニ表徵サレテ居ルト私ハ思フ、然ラバ積極進出ノ思想ハ是ハ水産業ニ求ムベキモノト思フ、ソレヲドウシテモ名ト共ニ標榜シテ、此ノ際行政機構ニ付テノ力アル所ノ革新ヲサレルト云フコトデアルナラバ、名ト實ト共ニ水産業ノ方面ニ於テ充實サレルコトハ當然ノコトデアアル

ト思フノデアリマス、大臣ハ的確ナ意見ハ申述ベルコトハ出来ナイト云フテ居ラレマスガ、心中ニハ必ずヤウ云フコトハ御考ヘニナッテ居ルコトト思フ、唯色々ノ財政上ノ關係ガアツタリ、世間一般ノ理解ト伴ハナケレバナラスト云フヤウナ、政治家ノ立場トシテ簡單ニ御答辯ニハナラナイノデアリマセウケレドモ、其ノ心底ニ於テハ全然私ト感ラ同ジウシテ居ルコト私ハ思フノデアリマス。カラ、其ノ意味ニ於テ十分ニ御努力ヲ願ヒタイ、次ニ大臣ガ本會議ニ於テ漁船保險ヲ茲ニ施行スルニ付テ、漁船ノ損害ヲ填補致シマスル共ニ、漁船ノ資金化ヲ容易ナラシメルト云フコトヲ言ッテ居ラレル、漁船ノ資金化ヲ容易ナラシムルト云フコトガ、保險制度確立ノ一ツノ理由デアルトスルナラバ、唯漁船ヲ資金化スルト云フコトハ、金融ヲ付ケズシテ何ノ意味ヲ成サナイ、茲ニ資金化ト云フコトハ、資金融通ノ途ヲ開クガ爲ニ資金化スル必要ガアルノデアリマス、資金化シタケレドモ、融通ハナイト云フナラバ、資金化シタ意味ヲ成サナイ、ソレデアリマス。カラ必ズヤ大臣ハ資金化スル、即チ金融ヲ同時ニ考フベキデアルト云フコトハ、是ハ言外ニ含シテ居ルノデアリマシテ、當然ナコトダト思フノデアリマス、然ラバ漁

業金融ト云フコトハ大臣ノ頭ノ中ニ必ず存
在スルコトデアリ、引續キ……引續キト云
フヨリモ、私ハ同時デナケレバナラスト思
フ、人間ノ方、漁業者ノ生命ノ安全、其ノ
遭難漁業者ノ遺族ノ保護ト云フヤウナコト
ニ付テハ、矢張り考ヘテ居ルト云フコトヲ
大臣ハ仰シヤルノデアリマスガ、ソレモ私
ハ引續キデモ行政上ノ手段トシテハ、爲政
者ノ頭ノ中ニ同時ニ御考ヘニナッテ居ルモ
ノト私ハ思フ、ソレデアリマスカラ漁船ノ
資金化ト云フコトニ付テ件フ所ノ金融ト云
フコトハ、是ハドウシテモ引續キ行政上ノ
手段トシテ御執リニナラナケレバナラヌコ
トト思フ、大臣ガ既ニ資金化ヲ容易ナラシ
ムルト云フコトヲ仰セラレテ、本會議デ言ッ
テ居ラレルノデアリマスカラ、必ず引續キ
爲サルコトト思ヒマスガ、其ノ點ハドウデ
アリマスガ、特ニ御尋ネ致シタイ、ソレハ
斯ウ云フコトヲ私ハ大臣ニ御考慮ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、元來漁業者ノ方面デ、水産ノ
方ノ金融ノ途ヲ開イテ貫ヒタイト云フコト
ハ多年ノ要望デアル、是ハモウ昔カラ言ッテ
居ルコトデアル、トコロガ其ノ都度ドウ云
フヤウナ工合ノ結果ニ消滅シテシマッテ居
ルカト云フコトハ、或ハ水産金融、水産銀行
ノ設立ト云フ問題ガ唱ヘラレテ居ッテ、ソレ

カラ漁業組合中央金庫ト云フ問題モ多年唱
ヘラレテ居ル、ソレハドウ云フコトデア
カト云フト、何等デモ或ハ勸業銀行ヲシテ
融通サセルトカ、或ハ産業組合中央金庫ニ
サウ云フ途ヲ與ヘルコトガ、利益デアルトカ
云フヤウナ意味ノ話デ以テ、大抵消滅シテ
シマフ、ソレハドウ云フコトデアルカト云フ
ト、サウ云フ既ニ出來テ居ル機關デ漁業ニ
モ金融ヲシタラ宜イデヤナイカト云フ所ノ
制度ニナル、サウスルトサウ云フ金融機關
ハ片手間デアリマスカラ、漁業ニ金融ヲ爲
シ得ル機關ニナッテ居ルノデアリマシテ、爲
スベキ機關ニハナッテ居ラナイ、デ漁業者ノ
要望スル所ハ、漁業ニ金融ヲスベキ機關ヲ
要望シテ居ルノデアリマス、爲シ得ル機關
ヲ要望シテ居ルノデハナイ、産業組合中央金
庫ニ之ヲヤラシシテ見テモ、或ハ勸業銀行ハ現
ニサウ云フコトヲ引受ケテ居ルダケデア
トコロガソレハ爲シ得ルト云フコトデ引受
ケテ居ルカラ、爲サザルベカラザル所以デ
ナイノデアリマスカラ、ドウシテモソレハ
手ガ入ラナイコトハ當然デアル、トコロガ
茲ニ水産金融機關ト云フモノヲ特設スレ
バ、ソレハ水産ニ對シテ爲スベキ機關デア
ル、默ッテ居ル譯ニ行カナイト云フノデ、當
業者ノ要望シテ居ル所ハ漁業金融機關ヲ特

設セラレムコトヲ要望シテ居ルノデアッテ、
金融ヲ要望シテ居ナイ、是ハ能ク御考ヘ願
ヒタイ、例ヘバ産業組合ノ中央金庫ト云フ
モノハ、農業資金ヲ主トシテ融通シテ居ル
ガ爲ニ、サウシテ中小商工業者ガ其ノ商工
中央金庫ト云フモノヲ要望シタコトモ、天
下ノ要望ニ依ッテ已ムヲ得ズ政府ノ方ガ引
摺ラレタ形ニナッテ居ル、トコロガ出來タモ
ノハドウ云フコトニナッテ居ルカト云フト、
日本興業銀行ノ首腦部ガ……ソレハ中小商
工業者ノ要望デナイ、特設ノ機關ヲ獨立ニ
持チタイト云フコトガ、是ガ中小商工業者ノ
要望デアル、併シソレハ外ノコトヲ私ハ論
ズル必要ガナイト思フ、唯水産ニ付テ要望
シテ居ル所ハソコナシデアリマス、トコロ
ガ水産業者ノ方面ノ要望ト云フモノハ、極
ク單純ナンデアリマシテ、サウ云フ詳シイ
要望ハシナイ、政府ハ十分考慮スルト言
フト、モウソレデ皆鎮マッテシマッテ、非常
ニ信賴シテ居ルノダガ、多年ノ結果ハ何等
之ヲ實行シナイ、サウ云フコトニナッテ居
マスカラ、大臣ハ其ノ點ニ付テ十分力ヲ入
レテ戴キタイト思フノデアリマスガ、ソレ
ハ産業組合ノ中央金庫ノ法案モ、是ハ政府
提出案デハナイ、議員提出案デア
ル、斯ウ云
フコトハ世間デハモウ其ノコトヲ或ハ忘レ

テ居ルカモ知レマセヌ、政府ガドウシテモ
實行シナイガ故ニ、衆議院デ議員提出デ産
業組合中央金庫ト云フモノガ出來タノデア
ル、サウシテソレハ設立ノ當初カラ政府ハ
千五百萬圓ト云フモノヲ出資シテ居ッテ、初
年度ニ五百萬圓、ソレカラ三年間ニ千五百
萬圓ト云フモノヲ出資シテ、サウシテ十五
年ノ間ハ利息ナシデア
ル、政府ノ出資ニ對シ
テ配當ヲ要求シテナイ、無利息ノ千五百萬圓
ト云フ金ガ農業ノ爲ニマア補助サレテ居ル、
低利資金デハナイ、無利息資金デアッテ、サ
ウ云フコトガ漁業ノ何處ニアリマスルカ、
私ハソレヲ大臣ニ御考ヲ願ヒタイ、ドウシ
テモ漁業ノ金融機關ト云フモノヲ作リマシ
テモ、天下ノ聲ハ今日ハ默ッテ居リマス
ケレドモ、如何ニモ政治家ガ其ノ點ニ付テ御
同情ガナク、御熱心ガナイノカト云フコト
ヲ世間ガ或ハ考ヘルカモ知レナイ、心ノ中
ニ於テハ非常ニ熱心ニ御考ヘニナッテ居ル
ト思フ、ソレガ實行ニ伴ハナケレバイカ
ヌト思ヒマスカラ、其ノ點ヲ十分考慮ヲ願
ヒタイノデア
ル、大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテ
居ルカト云フコトノ點ヲ御答辯願ヒタイ
○國務大臣(山崎達之輔君) 第一ノ日本ノ
特徴トスル所ニ、特ニカヲ國策上傾注スル
コトガ必要ダト云フ御意見ハ御尤モダト拜

承致シマス、其ノ意味ニ於テ水産ニ對シテ是マデドウモ力ノ入り方足リス、今後更ニ一層馬力ヲ掛ケナケレバナラスノデヤナイカト云フ御意見モ、私モ御同感デアリマス、從ツテソレヨリ起リマス將來ノ交渉ニ付テノ御意見モ先刻井上男爵ニ申上ゲマシタヤウニ、十分拜聽致シテ置キタイト思ヒマス、第二ハ金融ノコトデアリマスガ、此ノ問題ハドウシテモ一ツ何トカ早く解決シナケレバナラスト私ハ熱心ニ考ヘテ居ル者デアリマシテ、成ルベク速カニ適切ナ解決案ヲ得タイ、斯様ニ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲテ置キマス

ヲ考ヘルト……、サウスト云フト昨日水産局長ノ御説明ヲ承リマス云フト、昭和十二年、本年ノ六月一日カラ施行スルト言ハレマスケレドモ、ソレハ十組合ノ中ノ或者ダケガ六月一日カラ適用ヲ受ケルノデアアル、漁船保險ノ要望ト云フモノハ十年先ノコトヲ要望スルノデハナイ、トコロガ二百組合ノシマヒノ方ハ十年後ニナツテ初メテ適用ヲ受ケルト云フヤウナ如キ制度ハ宜イト御覽ニナツテ居ルカドウカ、私ハ今日修正意見ヲ出スト云フ意味デハナイノデアリマス、私ハモ當座ノ間ニ合セトシテ御承認シテ宜イカモ知レマセスガ、全國的ニ均霑ヲ御與ヘニナルトスレバ、ソレハ國營ナレバ直チニ行ハレル、ソレヲ何人ガ考ヘテモ十年後デナケレバ自分ノ持ッテ居ル漁船ニハ保險ガ付ケラレナイト云フコトヲ漁業者ガ聞イタ場合ニ於テ、此ノ漁業保險ハ何ラシテ居ラレルノデアアルカト云フコトヲ、私ハ漁業者ガ要望スルダラウト思フ、サウ云フ次第デアリマスルカラ、先ヅ第一年トシテハ漁船保險ト云フモノヲ附ケラレテ實行サレルト云フコトモ私ハ一ツノ策ト思ヒマス、併シナガラ適當ノ時機ニ於テ、私ハ國營保險ニ移スト云フコトヲヤリ得ルト云フコトヲ心掛ケヌデ、此ノ漁船組合デ一貫

スルノダト云フ主義ヲ固ク執ラレルト云フコトハ、我々共ハソレニ對シテハ共鳴シナイト云フコトヲ力強ク今日言明シナケレバナラス、ソレハ今申シマシタ所ハ當然ノ話デアアル、組合員ニ非ラザル者ハ保險ノ利益ヲ受ケラレナイ、是ハ直グニ事務當局ノ方カラ御答辯ガ出來ルト思フ、ソレハ十年先デアルト云フコトヲ聞カサレタ場合ニ、漁民ハ非常ニ失望落膽スルト思フ、サウ云フ制度ヲ提ゲテ漁船保險ヲ茲ニ實施スルノデアルト云フコトヲ言フテ、仔細ニ法案ヲ研究シタ者ハ、假ニ是ハ極端ナ言葉ヲ使ハバ欺罔ダト云フコトヲ言フダラウト思フ、欺イテ居ルト云フコトヲ思フカモ知レナイガ、ソレハ非常ニ極端ナ言葉デス、併シナガラ是等ハ十年先デナケレバ自分ノ保險ハ受ケラレナイト云フコトニナツテハソレハ失望スル、サウ云フ案ト云フモノガドウモ先刻カラ叫ンデ居ル所ノ、漁民ノ聲ニ對應スルモノダト云フコトニ言ヘナイト思フ、其ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイ、大臣ノ御考ヘハドウデアリマスカ

マシテ、再保險ヲスル方ガ適當デアアルマイト云フ考ヘデ此ノ案ガ出來テ居ル譯デアリマスガ、併シ如何ニモ御説ノヤウニ、十年ト云フコトヲ目標トシテ進ムト云フコトハ如何ニモドウモ、私モモウ少シ早く手取り早く普及セシメルヤウニ考ヘタイト存ジテ居リマスガ、或ハ豫算等ノ關係上サウ云フヤウナ制限ヲ受ケタカト思ヒマスケレドモ、是ハ私ハ事情ガ許シマスレバ成ルベク早く普及スルヤウニ努力シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 次ニ御尋ネ致シタイ問題ハ漁業ノ漁船保險ニ付キマシテ、私ハ國營ガ宜イト云フコトヲ考ヘテ居ル、其ノ意味ハ此ノ參考書ノ施設計畫ヲ拜見致シマススト云フト、十年掛ッテ二百ノ組合ヲ作ラウト云フ計畫チンデアアル、初年度ニ於テ三十ノ組合シカ御作りニナラナイ、サウシテ保險ノ利益ヲ受取ル者ハ先ヅ組合ヲ作ッテ來ナケレバナラスト云フ事情ニナツテ居ル、サウ致シマス、三十組合ニ屬スル漁村ダケハ保險ノ利益ヲ受ケマスケレドモ、三十組合以外ノモノハ十年目ニナツテ初メテ利益ヲ受ケルト云フコトニナル、其ノ一番遠イモノ

ヲシテ居ラレルノデアアルカト云フコトヲ、私ハ漁業者ガ要望スルダラウト思フ、サウ云フ次第デアリマスルカラ、先ヅ第一年トシテハ漁船保險ト云フモノヲ附ケラレテ實行サレルト云フコトモ私ハ一ツノ策ト思ヒマス、併シナガラ適當ノ時機ニ於テ、私ハ國營保險ニ移スト云フコトヲヤリ得ルト云フコトヲ心掛ケヌデ、此ノ漁船組合デ一貫

○國務大臣(山崎達之輔君) 其ノ點ハ政府委員カラ何レ御説明申上ゲタコトト思ヒマスガ、漁船ニ關シマシテハ從來ノ漁船ノ性質上及地方ノ實情等カラ矢張り極メテヤリ

○松村眞一郎君 次ニ森林ニ關スル問題、大臣ノ本會議ニ於ケル御説明ニ依リマススト云フト「府縣民有林ノ被害ニ付テ見マシテモ」ト云フコトデ、府縣民有林ト云フコトニ特ニ力ヲ入レテ居ラレル、ソレデ私ノ考ヘマスルノハ、此ノ森林ノ火災國營保險法案ヲ見マス云フト、其ノ附則ニ「本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セズ」ト書

○國務大臣(山崎達之輔君) 左様御諒承願ッテ宜シイト思ヒマス

○松村眞一郎君 次ニ森林ニ關スル問題、大臣ノ本會議ニ於ケル御説明ニ依リマススト云フト「府縣民有林ノ被害ニ付テ見マシテモ」ト云フコトデ、府縣民有林ト云フコトニ特ニ力ヲ入レテ居ラレル、ソレデ私ノ考ヘマスルノハ、此ノ森林ノ火災國營保險法案ヲ見マス云フト、其ノ附則ニ「本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セズ」ト書

○國務大臣(山崎達之輔君) 其ノ點ハ政府委員カラ何レ御説明申上ゲタコトト思ヒマスガ、漁船ニ關シマシテハ從來ノ漁船ノ性質上及地方ノ實情等カラ矢張り極メテヤリ

○松村眞一郎君 次ニ森林ニ關スル問題、大臣ノ本會議ニ於ケル御説明ニ依リマススト云フト「府縣民有林ノ被害ニ付テ見マシテモ」ト云フコトデ、府縣民有林ト云フコトニ特ニ力ヲ入レテ居ラレル、ソレデ私ノ考ヘマスルノハ、此ノ森林ノ火災國營保險法案ヲ見マス云フト、其ノ附則ニ「本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セズ」ト書

イテアル、此ノ指定スル地域ト云フモノハ

是ハ北海道デアラウト思ヒマス、府縣ト云

フコトヲ特ニ力説シテ居ラレルノハ北海道

ハ此ノ法律ヲ行ハナイト云フコトヲ考ヘテ

居ラレルノダト私ハ思フ、ソレハ説明書ノ

方ヲ拜見シマス云フト、此ノ森林火災國

營保險ノ話ト云フノガアリマス、之ヲ讀ミ

マスト云フト北海道ヲ除クト云フコトハ書

イテナイ、書イテアリマセヌケレドモ、中

ノ文字ヲ見マスト云フト府縣、府縣トアッテ

道ト云フ字ガナイ、ダカラ之ヲ見マスト云

フト北海道ハ適用シナイノデアルト云フコ

トガ是デ分ルノデアリマス、ソレト同時ニ

今度森林火災國營保險參考書ト云フモノヲ

見マスト云フト、北海道ヲ除クト云フコト

ノ字ガ十一頁ノ幼齡林火災被害狀況、年次

別調査表左ノ如シト云フ所ニ北海道ヲ除ク

ト云フコトガ書イテアル、ソレカラ十三頁

ノ所ニ、二十年生以下ノ民有林人工植栽地面

積ト云フ所ニ「北海道ヲ除ク内地」ト書イテ

アル、ソレカラ六頁ニ明瞭ニ書イテアル、

此ノ參考書ニ明カニ書イテアル、參考書ノ

第十二頁ニ書イテアリマス、森林火災國營

保險北海道ヲ除ク内地ニ於テ實施スル見込

ナリト斯ウアリマスガ、此ノ北海道ハ何時

モ除カレル御積リデアリマスガ、其點ヲ承

リタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 北海道ニ於テ

モ此ノ法律ヲ施行致シタイノデアリマスガ、

マダ材料等ガ不十分ノ點モゴザイマシテ、

直グニハ實行出來マセヌデゴザイマスガ、

出來ルダケ早く實行スルヤウニ致シタイト

考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 是ハ私ハサウ簡單ニ御答

辯ニナルコトノ出來ナイ問題デアルト思

フ、ソレハ行政機構ニ是ハ非常ニ關係シテ居

ル、元來農林省ノ此ノ昭和十二年第十二次

農林省統計表ト云フノガアリマスガ、此ノ

統計表ヲ眺メテ見マスト云フト、北海道ノ

コトモ内地ノコトモ總テ共通シタ統計表ガ

出來テ居ルノデアリマシテ、此ノ林野行政

ノ立場カラ眺メル場合ニハ、内地ノ府縣ト

北海道トハ共通シテ眺メルト云フコトハ當

然ノコトデアルト私ハ思フノデアリマス、

サウ云フ譯デアリマスカラ、北海道ダケ特

ニ除外スルト云フコトノ意味ガナイノミナ

ラズ、北海道コソドウシテモ是ハ入レナケ

レバナラス、ソレハ林野ノ新植ト云フコト

ヲ統計表ニ示シテ居ル所ヲ見マスト云フト、

昭和十年ノ新植ノ面積、林野新植面積ガ昭

和十年ニ於キマシテ十萬九千七百二十八町

歩九反ト云フコトニナッテ居リマス、其ノ内

北海道ハ一萬一千四百十五町歩二反、斯ウ

云フコトニナリマス、是ハ數字ガ示シテ居

ルノデアリマス、サウシマス云フト林野

ノ新植ノ場所面積ダケヲ見テモ……其ノ外

ニ林野ノ補植ト云フコトモアリマスルガ、

唯此ノ新植ノコトダケ見テモ一割以上ハ北

海道ナンデス、是ハ北海道ガ全體ニ付テノ

一割以上ナンデス、ソレハ全體ノ面積デア

リマスケレドモ、ソレカラ今度私有林ハド

ノ位アルカト云フコトヲ見テ見マスト云フ

ト、同ジク昭和十年ノ統計ニ於テ、私有林

ハ新植面積ハ六萬三千三百九十四町歩五反

ト云フコトニナッテ居リマス、其ノ内北海道

ハ三千二百二十一町歩四反ト云フコトニ

ナッテ居リマス、是ハ私有林デス、是デ見テ

モ一割ハアリマセヌケレドモ、兎モ角非常

ニ大キナ面積ナノデス、是ハ昭和十年ダケ

デアリマスカラ各年度ニ互ッテ見ルト云フト

北海道ハモット著シイ場合ガアリマス、或

ハ少イ場合ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ

今年ノ統計ニ付テ申シテ居ル、各府縣ヲ

眺メテ見マスト云フト、偶、十年ハサウデア

ルガ、普通ノ年度ハドウデアアルカ、私此處

ニ十年ノ統計シカ持ッテ居リマセヌカラ、ソ

レハ申上ゲラレマセヌガ、静岡縣ダケハ四

千八百八十町歩一反ト云フコトニナッテ居リ

マス、ソレハ北海道ヨリ多イ、其ノ外ドノ府

縣デモ北海道ヨリハ少イ、是ハ林野ノ新植

面積ノ關係カラサウナル、ソレカラ林野ノ被

害面積カラ申シマス云フト、是ハ矢張り

昭和十年ノ統計ニ於テ、被害面積ノ内火災

ダケノモノヲ申シマス云フト、總面積ハ

一萬二千三十三町歩九反ト云フコトニナッ

テ居リマス、其ノ内北海道ハ面積ニ於テハ

二百九十六ト云フノデ、是ハ割合ニ少イ、

併シ是ハ唯十年ダケノ統計シカアリマセヌ

カラ、ズツト平均シテ見テドノ位ノモノデ

アルカソレハ分リマセヌ、是ハ火災ダケ

ノ問題デアルノデス、私有林ノ方ノ火災面

積ヲ眺メテ見マスト云フト、是モ北海道ハ

ソレ程多クハアリマセヌガ、矢張り被害ハ

各府縣ヨリモ多イ、各府縣ハ北海道ヨリモ

多イ所ガアリマスガ、少イ所モアルト云フ

ヤウナ状態デアリマスカラ、ドウシテモ北

海道ト云フモノヲ森林保險ニ付テ考ヘナイ

デ進ムト云フコトガ、私ハ餘程實際問題トハ

距離ノ遠イ施設デナイカト思ヒマス、是ハ

農林省ガ何故北海道ノ方ニ此ノ問題ヲ同時

ニ施行サレナイカト云フト、資料ガナイカ

ラト云フ意味デナイカト私ハ思フ、火災保

險ハ大體同ジ料率デ實行サレレバ宜イノデ

アリマスカラ、北海道ダケ特別ノ料金を取

ラナケレバナラヌ程火災條件ガ特ニ北海道ハ違ッテ居ルノデハナイト思フ、是ハ單ニ行政機構ノ問題ドラウト思フ、北海道ニ於テハ林野行政ノ主務官廳ガ内務省ニナッテ居ル、其ノ爲ニ農林省ハ内務省ト十分ノ協調ヲセズニ本案ヲ提案サレタノデハナイカト

思フ、ソレハ餘程其ノ點ニ付テモ協調サレテ、所管ガ内務省デアレバ、内務省ガ同時ニ實行シテ宜シイノデアリマスカラ、森林火災保險ハ内地及北海道モ同時ニ施行シテ、内務省ノ方ハ内務省デアリサレルガ宜イト思フ、ソレガドウ云フ譯デ北海道ヲ後ニシナケレバナラヌノデアアルカト云フコトヲモウ少シ明瞭ニ御答辯ガ願ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ北海道ガ

拓殖ノ關係デ別ニナッテ居ルカラドウ斯ウト云フヤウナ考ヘハ私共ハ持ッテ居リマセヌ、唯北海道ノ事情ガ過去ニ於テ災害ガ減少致シテ居リマスシ、又火災ノ情況ナドハ最近著シク宜クナリツ、アルノデアリマスカラ、尙モウ少シ研究ヲ要スル點ガアルノデ、ヤラヌト云フ趣旨ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、北海道ニモヤラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、又内務省ト連絡協調ヲ取ラズニヤッタノデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、此ノ法案ノ内部ノ關係ヲ申

シマス、内務省ニ合議ヲ致シテヤッタノデアリマシテ、農林省ダケデヤッタト云フノデハナイ、内務トモ能ク相談致シテ、内務省ニ合議致シテヤッタノデアリマス、其ノ點ハ内務省ト連絡ナシニヤッタト云フヤウナ取扱ニハ致シテ居リマセヌ

○松村眞一郎君 連絡ヲ取ラナケレバ是ハ

到底出來ナイノデアリマスカラ、凡ソ内務ト相談ヲセズシテ、北海道ダケヲ除クト云フコトハ是ハ出來ナイ、サウ云フコトヲ言ッテ居ルノデハナイ、連絡ト云フコトデナイノデアッテ、何ガ故ニ北海道ヲ除外シナケレバナラヌカト、斯ウ云フノデス、補植状態ニ付テ少シ研究ヲ要スルト云フコトデアリマスガ、北海道ノ補植状態ハ内地ノソレトハ違フノデアリマスカラ、ソレヲ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(村上龍太郎君) 拓殖ノ關係

デ、國有トハ別ニナッテ居ルト申シタノデアリマスガ、拓殖ノ關係デ云々ト申上ゲタノハ、國有林ノ關係ニ付テ申上ゲタニ過ギナイノデアリマスガ、火災ノ状態ナドハ北海道ニ於キマシテモ非常ニ警防方面ニ力ヲ入レテ、段々良クナリツ、アルノデアリマス、左様ナ點モ考ヘ、又其他ノ資料ノ蒐集、是モ我々ノ方デマダ十分蒐集ガ出來テ

居リマセヌノデ、是等ノ點ヲ取急イデ研究ヲ進メマシテ、北海道ニモ此ノ制度ガ及ビマスヤウニ努メタイト考ヘテ居ル、斯様ナコトヲ申上ゲタノデアリマス

○松村眞一郎君 資料ノ蒐集ガ出來テ居ラ

ナイト云フコトハ北海道ノ調査ガ不十分デアルト云フ御考ナンデアリマスカ、内務省ニ於ケル調査ハ平常不十分デアアル、農林省ガ調査ヲスレバ、農林省ハ主務官廳デアアルカラ恐ラク調査ハシテ居ルンダラウト思フ、所管ガ違フカラト云ッテ内務省ハ不十分ダト云フナラバ、農林省ハ林野ノ國家全體ノ見地カラ見テ、内務省ニ任セテ置ケト云フ態度ヲ執ルベキ筈ダト思フ、ドウ云フノデスカ、其ノ邊ヲモウ少シ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 我々ノ方デマ

ダ十分北海道ニ此ノ保險ヲ、此ノ制度ヲ直ダニ實行スルダケノ資料ガ得ラレナイノデアリマス、此ノ點ハ出來ルダケ早く一ツ整備ヲ致シタイ、其ノ上デ實行致シタイ思フノデアリマス、北海道ニ施行ガ出來ヌカラ全國的ノ施行ヲ遅ラスト云フ譯ニモ行キマセヌ、元々ハ早ケレバ早イ程、實行スル方ガ宜イト我々ハ考ヘテ居リマスルノデ、足ラヌ分ハ後カラ補正スルニ致シマシテモ、

出來ルダケ早く斯様ノ制度ハ實行スル方ガ宜シイト云フ考カラ、北海道ハ後ニナリマスケレドモ、是モモット早クスルヤウニ努メマシテ、出來ル部分即チ府縣ニ付テハ、早ク之ヲ實行ニ移シタイト云フ意味カラ本案ヲ提出致シタノデアリマス

○松村眞一郎君 私ハ北海道ガ出來ナイカ

ラ止メロト云フヤウナ議論ハチットモ致シテ居ラヌ、北海道ガ出來ナクッテ内地ハヤラナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ話デアアル、北海道ハ少シ調査ガ不備デアッテモヤッタ宜イデヤナイカト云フコトヲ議論シテ居ル、北海道ハ調査ガ不十分ダカラト云フアナタノ御答辯ハ、見當違ヒデアルト云フコトヲ申上ゲル、内地デ實行スル場合ニ、例ヘバ資料ガ不備デアッテモ、ソレヲ願慮シテ施行ヲ北海道ニシナイト云フコトノ理由

ハ、私ハナイダラウト云フコトヲ申上ゲル

ノデアアル、必要ノ調査ガ無イト云フコトハ、農林省ノ方ノ調査ガ無イト云フコトヲ申上ゲル、内務省ニアルダラウト云フコトヲ申上ゲテ居ル、内務省ニ無イト云フコトデアレバ、サウ云フコトヲ無視シテ居ルト云フコトハ私ハ農林省トシテ、國務大臣トシテ許サレナイト思フ、林野行政ニ於テ内地ト差別待遇ヲシナケレバナラヌト云フ理由ハ

ナイト思フ、其ノ意味ニ於テ私ハ重大ニ言フテ居ル、行政機構ト云フコトハサウ云フ所ニ缺陷ガアルト云フコトヲ考ヘルカラ言フノデアアル、農林省ノ方デハ、調査ガ出来ナイ場合ハ内務省ニ御聽キニナレバ宜イ、内務省ノ保險ノ方ハ内務省ノ所管關係デアッテ、ヤラナクテモ宜イト云フコトヲ内務大臣ガ考ヘテ居ルトスルナラバ、私ハ内務大臣ニ質問セザルヲ得ナイ、サウ云フコトデナイト思フ、ソレハアナタノ方デ速カニ内務大臣ト相談シテ之ヲ實施サレルノガ宜イト思フ、サウ云フ場合ニ於テハドウスルカ、内務省ノ所管ニナルグラウト思フノデアリマスガ、ドウ云フ考デアリマスカ、サウシテ特別會計ハ大藏省デアアルガ、農林省ハ内務省ト兩方デ運用シテ行クト云フコトニナルノデアリマスカ、此ノ點ドウデアリマスカ

ク北海道ニモヤルヤウニ致シタイト考ヘマス
○松村眞一郎君 出來ルダケト云フコトヲ聽イテ居ルンデヤナイ、ドノ位ノ年限デ行キマスカト云フコトヲ御尋ネシテ居ル、漁業保險ノ方ハ六月一日カラ施行スト云フ、期間ニ付テ非常ニ明瞭ニ御答辯ニナッテ居ル、北海道ト云フモノハ一日モ忽セニスルコトハ出來ナイト私ハ思フ、凡ソ何年グラキナラ調査ノ見込ガ付クト云フヤウナ、凡ソノ方針ガ無クテ法案ヲ提出サレルト云フコトハ不深切グラウト思フ

常ニ同感ナンデアリマス、北海道ハ今我が國デハ或意味ニ於テ防火問題ハ一番發達シテ居リマス、火災報知機ノ如キハ日本デハ函館ガ一番先キニヤッタノデアリマス、先年大キナ火災ヲヤリマシタガ、是ニハ又是ノ理由ガアリマス、ソレカラ此ノ間請願委員會デモ法律ヲ以テ火災豫防組合ノ規則ヲ作ッテ呉レト云フ請願ガアリマシタ、政府ハ之ニ對シテ消防組規則モ勅令ダシ、今法律ヲ以テヤルノハドウデアラウト思フガ、其ノ趣旨ニハ賛成スル、火災豫防組合大イニ盛ニスルト云フコトハ、此ノ火災豫防組合ト申シマスルモノハ、日本デハ北海道ガ一番先キニヤッタノデアリマス、日本ニハ外ニハナイノデアリマス、最近ニ於テ兵庫縣ノ神戸ハ兵庫縣令ニ依ッテ、此ノ席ニ御出席ニナッテ居ル白根長官ガ當時御在職中デアリマシタガ、防火組合ヲ兵庫縣令デ以テ神戸ノ市ニ實行シタノデアリマス、此ノ二ツダケデアリマス、先刻申上ゲル通りニ、山林ノ火災ハ北海道ハ近年餘程消防ガ發達シタ關係上少クナッタノデアリマス、要スルニ北海道ハ我が國ニ於テ最も火災豫防ト云フ點ニ付テ先進ノ縣デアリマス、先進ノ場所デアリマス、サウ云フ所ヲ、今山林ノ保險ヲ御作りニナル場

合ニ於テ、無視ナサルト云フコトハ防火ノ氣合ノ上ニ於テ、非常ニ北海道ヘ不信任ト云フ聲ヲ與ヘル、此ノ消防者ハ非常ニ氣合者デアリマス、殊ニ我が國民性トシテ……、此ノ點ニ於テ非常ニ政府ノ緩慢タルヲ免レスノデアアル、速カニ御實行アッテ然ルベキコトデアルト思フノデアリマス、ドウカ一日モ速カニ御斷行ノ程ヲ切望致シマス

○政府委員(村上龍太郎君) 此ノ點ニ付キマシテハ保險ノ方カラ申シマスルト、成ルベク大キナ區域ヲ包括スル方ガ宜イノデアリマスカラ、矢張り此ノ保險デ以テ又此ノ特別會計デ行クヤウナコトニ工夫ヲ致スノガ適當デアラウト見テ居ルノデス

○政府委員(村上龍太郎君) 何年ト云フ風ニ年限ヲ切ルト云フ譯ニ行キマセマスガ、是ハ一年デモ早イ方ガ宜イカト考ヘテ居リマスノデ、出來ルダケ早クヤルヤウニ努力ヲ致シタイト思ヒマス

○政府委員(村上龍太郎君) 仰セノ如ク、北海道ハ以前ハ火災ガ非常ニ多イ地方デアッタ、ソレガ近頃ニナッテ非常ニ少クナッテ來タ、危險率ハ、古イ數字ヲ取リマスト危險率ガ多イノデアリマス、最近ノ數字ヲ取リマスト危險率ガ低イ、ソコデ北海道ノ火災ニ付キマシテハ餘程情勢ガ變ッテ居リマス、ソレ等ノ點ヲ研究致シマシテ出來ルダケ早ク北海道モヤリタイト考ヘテ居リマス

○松井茂君 尙御參考ニ申上ゲマス、一箇年百五十萬圓カラ二百萬圓、三百萬圓ノ火災ガ日本デ一番デアリマスシ、北海道函館ハ風ガヒドイノデアリマスガ、ソレハ地勢モ關係ガアル、サウ云フ所ガ、火災ガ非常ニ減ッタモノデスカラ、保險率ガ非常ニ安クナッタ、ソレデ此ノ間ノ大火事マデハ年ニ五萬圓カラ十萬圓、十五萬圓デ済ムコトニナッタ、ソコデ矢張り火災保險ノ方ハ保險率

○松村眞一郎君 サウシマス北北海道ニハ何時頃カラ實行スル見込デアリマスカ

○松井茂君 今北海道ノ問題ニ付テ、松村君カラ縷々御話ガゴザイマシタガ、私モ非

○松井茂君 尙御參考ニ申上ゲマス、一箇年百五十萬圓カラ二百萬圓、三百萬圓ノ火災ガ日本デ一番デアリマスシ、北海道函館ハ風ガヒドイノデアリマスガ、ソレハ地勢モ關係ガアル、サウ云フ所ガ、火災ガ非常ニ減ッタモノデスカラ、保險率ガ非常ニ安クナッタ、ソレデ此ノ間ノ大火事マデハ年ニ五萬圓カラ十萬圓、十五萬圓デ済ムコトニナッタ、ソコデ矢張り火災保險ノ方ハ保險率

貴族院

ヲ安クシテ呉レ、勉強シテ居ルノダ、斯ウ云フノデ保險率ガ安クナツタ所ヘ大火事ガアツタモノデスカラ又高クナツタ、今度又低クナツタト云フヤウナ所デ非常ニ努力シテ居ルノデアリマス、サウ云フ所ハ官憲ガ餘程御獎勵ニナラナケレバナラヌ、サウ云フ所ナ

コトハ萬々ナイコトダラウト思ヒマス、營利會社デアレバ或ハサウ云フコトニ付テノ國民ノ考方ガ幾分弱イカモ知レマセヌガ、併シ詐欺ト云フコトハ惡イコトデアリマスカラ、何事ニ於テモサウ云フコトハ爲サナイコトガ原則デアアル、併シナガラ其ノ保險ノ經營ノ形式如何ニ依ツテハ、法式如何ニ依ツテハ、其ノ本人ハ非常ニ善良デアアルケレ

ナラヌト云フコトニナリ、隣保相警メルト云フ所ノ良イ作用ガソコカラ現ハレテ來ルガ故ニ、火災保險ニ付テハ相互保險主義ノ方ガ宜シイト云フコトヲ、私ガ昨日カラ言ツテ居ル所以ナノデアリマス、然ラバ其ノ被保險者ガ詐欺ニ因ルヤウナ行爲ガ、殊ニ超過保險ノ場合ニハ起ル、先程山本サシモ其ノ點ニ付テ詳シク御述べニナツテ居

マス、黙ツテ居ツテ……、併シナガラ私人言ハムトスル要點ハ、ソシナヤウナ事例ヲ保險組織ガ惡イガ爲ニ無辜ノ人ヲシテ、極ク單純ナ正直ナ人ヲシテ誘發セシムル虞ガアルカラト云フコトノ意味ニ於テ申シテ居ルノデアリマス、是ハヨク保險組織ニ付テノ關係ヲ御考ヲ願ヒタイ、ソレハ直チニ私ハ、相互保險主義ニ依レト云フコトヲ申ス意味デハアリマセヌケレドモ、併シナガラ相互警戒ノ趣旨ハ、此ノ保險契約ヲ實行スル上ニ於テ、何等カノ形ノ上ニ於テ連絡ヲ取ラ

○松村眞一郎君 只今ノ火災警防ト云フ方面ノ權威者デアアル所ノ松井サンカラノ御話

ニ依ツテモ明カデアアル、危險率ノドウモ少イ所デアアルナラバ一番先キニ保險ガ行ヘル、遅レル方ガラカシイ、安全ナ地ニ先ヅ行フモノデアアル、トコロガ安全ナ地ト云フコトヲ證明サレテ居ルノニ、其ノ方ヲ遅ラスト

例トシテ唯空論ヲシテ居ツテハイケマセヌカラ、私ハ昨日此ノ町村デサウ云フヤウナ事例ガ、ヨク名前ハ覺エテ居ナイガト云フコトヲ昨日申シタ、町村ハ一萬一千八百有餘モアルノデアリマスカラ、其ノ中ノ一ツ位ノモノノ、或部落ノ不心得ノヤウナ事例ガアツタカラト云ツテ、町村全體ガ其ノ不名譽ヲ負フ必要ハアリマセヌガ、私ハハッキリ

ヲ見マスト云フト、年次ノ被害面積、被害額ト云フモノガ此處ニ掲ゲラレテアル、デ昭和十年ニ於テハ北海道ヲ除ク府縣ノ被害額ハ、面積ニ於テ一萬三千町歩有餘ノ數字ガ此處ニ書イテアリマス、被害額ハ二百三十八萬餘圓デアアルト云フコトガ此處ニ示シテアル、デ大臣ハ矢張り其ノコトヲ本會

ヲ證明サレテ居ルノニ、其ノ方ヲ遅ラスト云フコトハソコニ何等カ缺陷ガアルト云フコトヲ證明シテ居ル、暴露シテ居ルト私ハ申上ゲテ宜イト思フ、政府委員ハ大臣ニ報告サレテ、能ク御相談ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ點ニ付テ……、ソレカラ此ノ火災保險、森林火災保險ニ付テハ此ノ法案ノ「第八條ニ斯ウ云フ規定ガアリマス」(第八條、

譯デアリマスカラ、會社トカ云フヤウナ經營ノ方法デハ、動モスルト云フト火災ニ對スル注意ガ、保險ヲ附ケタガ爲ニ緩ムト云フ虞ガアル、サウシテ保險ニ附イテ居ナイ場合ニハ火ノ用心ヲ非常ニスルケレドモ、燒ケテ見テモ保險金ガ取レルノダト云フ緩ミヲ生ズル虞ガアルノデ、是ガ火災保險ニ付テハ餘程考ヘナケレバナラヌ一ツノ要點デアアルト思フ、ソレガ第三者保險デアルト云フト、此ノ緩ミガ生ズル虞ガアル、併シナガラ相互保險ダト云フト、自分ガ保

コトヲ昨日申シタ、町村ハ一萬一千八百有餘モアルノデアリマスカラ、其ノ中ノ一ツ位ノモノノ、或部落ノ不心得ノヤウナ事例ガアツタカラト云ツテ、町村全體ガ其ノ不名譽ヲ負フ必要ハアリマセヌガ、私ハハッキリ町村ノ名前ヲ記憶シテ居ナイノデアリマスケレドモ、其ノ際斯ウ云フ町村ガ、ドノ町村カ知ラスガト云フコトヲ私ハ申シタノデアリマスカ、其ノ惡イコトノ例ヲ其ノ町村ノ名前ノ上ニ被セルコトハ私好ミマセヌカラ、名稱ノ點ダケハ私茲ニ取消サシテ戴キ

テアル、デ大臣ハ矢張り其ノコトヲ本會

所有者ガ、政府ニ對シテ詐欺ヲ行フト云フ

併シナガラ相互保險ダト云フト、自分ガ保

コトヲ昨日申シタ、町村ハ一萬一千八百有餘モアルノデアリマスカラ、其ノ中ノ一ツ位ノモノノ、或部落ノ不心得ノヤウナ事例ガアツタカラト云ツテ、町村全體ガ其ノ不名譽ヲ負フ必要ハアリマセヌガ、私ハハッキリ町村ノ名前ヲ記憶シテ居ナイノデアリマスケレドモ、其ノ際斯ウ云フ町村ガ、ドノ町村カ知ラスガト云フコトヲ私ハ申シタノデアリマスカ、其ノ惡イコトノ例ヲ其ノ町村ノ名前ノ上ニ被セルコトハ私好ミマセヌカラ、名稱ノ點ダケハ私茲ニ取消サシテ戴キ

テアル、デ大臣ハ矢張り其ノコトヲ本會

議デ言ツテ居ラレル、二百萬圓ト云フ數字ヲ

言ツテ居ラレルノハ、此ノ數字ニ依ツテ述ベラ

レタモノト思フ、トコロガ其ノ下ニ内譯トシテ

二十年生以下ノ造林地ノ被害額ガ此處ニ示

シテアル、面積ハ二千六百有餘町步ヲ此處

ニ掲ゲテアルケレドモ、被害金額ヲ書イテ

ナイ、「不明」ト書イテアル、私ハ是ハ大變ナ

コトダラウト思フ、不明ナモノヲ根據トシ

テ保險契約ヲ茲ニ經營サレヤウト云フコト

ハ、私ハ實ニ驚カザラ得ナイ、元來明瞭

デアアルカラ、茲ニ危險ノ算定ガ出來ルノデ

アリマス、不明ヲ基礎ニシテ保險契約ヲ……

保險ノ施設ヲ政府ガ始メルト云フコトハ、

是ハ甚ダ私ハ驚カザラ得ナイ、面積ガ分ッ

テ居ルノニ、總損害ガ分ッテ居リ、總損害ノ

面積ガ分ッテ居リ、二十年生以下ノ被害面積

ガ分ッテ居ルナラバ、差引勘定スレバ二十年

デアアル、掲ゲナイトシテモ之ヲ包含シタモ

ノガ二百萬圓ト云フ金額ニナツテ居ルデア

ラウト思フ、サウスルト二百萬圓ノ金額ヲ

算出スル場合ニ於テ二十年生以上ノ方ノ

被害額ハ分ッテ居ラレル、サウスレバ差引勘

定スレバ直グ出テ來ル、二十年生以下ノ造

林地ノ被害金額、是ハドウシテモ算盤ノ上

デ出テ來ル、不明デアルト言フテモ不明デナ

イ、數字ノ示シテ居ル所ヲ御出シニナラナ

イ、是ハ私ハ資料トシテハ非常ニ不深切ナ

資料デアアルノミナラズ、保險ノ基礎ノ數字

ヲ示サナイデ、此ノ法案ヲ審議シロト云フ

コトヲ要望シテ居ラレルト云フコトハ、此

ノ委員會ニ對シテ私ハ非常ニ不深切ダラウ

ト思フ、損害ガドノ位アルト云フコトニ依ッ

テ、其ノ損害ヲ填補スル爲ニ我々ハ茲ニ審

リマス、大キクナツタ森林デアリマスルト、

其ノ山ノ立木ノ材積ヲ量リマシテ、ソレデー

石幾ラ、總材積幾ラアルカラ、山ノ損害ガ幾

ラト云フコトハ考ヘラレマスガ、造林地ニナリ

マスト小サイ木デアリマシテ、材積ガ出マシテ

モ、其ノ材積デ以テ計算ヲ致シタノデハ、本

當ノ實質ト云フコトハ言ヘナイコトニナル、

ソコデ材積主義、材積カラ出ス價額主義ハ

執ルコトガ出來マセス、ソレカラ第二ハ、

其ノ造林地ヲ成熟スルマデ置イタラ幾ラノ

價額ニナルデアラウ、依ッテソレノ全價ヲ計

算ラスレバ是レ位ニナルダラウト云フ希望

價カラ計算致シマスル方法モアリマス、是ハ

計算ト致シマシテハ、非常ニ困難ナ價額ノ

先行キモ見ナケレバナラズ、將來ノ生長ノ

工合等モ見ナケレバナラズ、理窟トシテハ

此ノ森林火災保險法ノ狙ヒ所ト致シマス

ル所ハ、出來ルダケ火事ニ罹リマシテモ再

造林、即チ再ビ造林スルコトヲ容易ナラシ

メタイト云フ趣旨カラ出テ居リマスカラ、

造林ノ費用ト云フモノヲ目安ニ致シマシ

テ、總テヲ考ヘテ參ッテ居リマス、即チ第三

ノ費用價ト云フ點ニ重キヲ置イテ、ソレヲ何

ト申シマスカ、主ニシテ考ヘテ參ッテ居リマ

ス、左様ニ致シマス、何町步ノ造林地ノ

内何町步ガ燒ケタト云フコトガ分レバ大體

ノ所ガ出テ參リマス、何町步燒ケルナラ

バ、其ノ造林地ノ再造林費ハ大體是レ位掛

ルノダト云フ風ナコトカラ計算ヲ致シマス

ノデ、全造林地ノ面積ト、ソレカラ被害ニ

罹ッタ造林地ノ面積ノ比率デ考ヘテ參ッテ居

リマスノデ、此處ニ取リマシタ統計モ被害

ト云フコトヲ斷言スルモノデアリマス、其

ノ資料ヲ早く御示シテ願ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 造林ノ保險ニ

付キマシテハ、被害ノ關係、危險率ノ關係

ヲ調べマス際ニ、三ツノヤリ方ガアルト考

ヘテ居ルノデアリマス、デ御承知ノヤウニ

造林地ノコトデアリマスカラ、壯齡林トハ、

即チ成熟シテ居ル森林トハ趣ガ違フノデア

リマス、大キクナツタ森林デアリマスルト、

其ノ山ノ立木ノ材積ヲ量リマシテ、ソレデー

石幾ラ、總材積幾ラアルカラ、山ノ損害ガ幾

ラト云フコトハ考ヘラレマスガ、造林地ニナリ

マスト小サイ木デアリマシテ、材積ガ出マシテ

モ、其ノ材積デ以テ計算ヲ致シタノデハ、本

當ノ實質ト云フコトハ言ヘナイコトニナル、

ソコデ材積主義、材積カラ出ス價額主義ハ

ナカノムヅカシイ問題ヲ伴フコトト思ヒ

マス、ソレカラ第三ノ方法ト致シマシテ

ハ、此ノ造林地ヲ作ルノニハ大體ドレ位ノ

費用ガ要ラウダラウト云フコトヲ以テ基礎

ト致ス、所謂費用價ト申シマスガ、一町步

植エルノニハ大體八十五圓ナラ八十五圓ト

云フノデ、先ツ此ノ造林地ナラバ八十五圓

掛ル、ソレヲ以テ一應造林地ノ價額ト見ル

ト云フ費用價ニ依ル方法モゴザイマセウ、

○松村眞一郎君 ソレハ私ハ意味ヲナサヌ

ト云フコトヲ申上ゲル、總被害面積ヲ此處

ニ掲ゲタ以上ハ、二十年生以上ノモノノ被

害ナルヲ以テ被害額ヲ掲ケズ」ト斯ウ書イ

害ノ金額ハ、此ノ總被害ノ中ニ入ッテ居ル譯デアアル、ソレハドノ位ダト云フコトハ、御尋ニスレバ必ズ言ハレルダラウト思フ、ソレハ今ノ御答辯デ分ッテ居ル、造林ノ材積デ評價サレル、二十年生以上ハ材積デ評價サレルコトハ當然ダラウト思フ、サウスレバ二十年生以上ノモノヲ被害總面積ノ中カラ除キ得ルコトハ明瞭ナコトデアアル、残りハ二十年生以下ノ造林ト云フコトニナルノハ當然デアアル、之ヲ何ガ故ニ避ケテ御示シニナラナイカ、ソレヲ御示シニナッテ宜カラウト思フ、今山林局長ノ言ハレタコトハ當然ノ話デアッテ、凡ソ損害ト云フモノヲ考ヘレバ、サウ云フ三ツノ方向ニ於テ考ヘルト云フコトガ一つノ方法デアアルニハ違ヒナイ、現在ノ價額ヲ以テ是ガ物ソレ自身ノ價額評價主義、ソレカラ由來スル所ノ價額、即チ造林地及此處ニ書イテアリマス所ノ未來價額、將來ノ希望價格即チ將來價額、過去デ見ルカ、現在デ見ルカ、將來デ見ルカト云フコトノ三ツシカナイ、凡ソ物ト云フモノハ時ノ關係カラ見レバ極ッテ居ルモノデアアル、其ノ三ツノ中ノ過去ノ方ヲ考ヘルト云フコトノ案ヲ採ツタト云フコトハ、説明ノ理由トシテハナルデセウ、併シナガラ其ノ場合ニ於テモ我々ノ聽カムトスル所ハソレデ

宜シイ、ソレニ依レバ斯ウナルト云フコトヲ御示シニナルノガ當リ前ダト思フ、若シ此ノ被害面積ノ算出ハ大臣自身ガ既ニ本會議デ言明シタノデアリマスカラ、農林省統計ニ依ッテ二百三十萬圓ト云フモノハ、總被害面積デアルト云フ居ルコトヲ茲ニ天下ニ言明サレタ以上ハ、農林省統計ノ信用問題デアアル、農林省統計ハ其ノ損害ヲチャント印刷物デ世間ニ公表シテ居ル、ソレニ依レバ二十年生ノ造林地被害ノ金額ト云フモノハ斯ウ云フモノニナル、此ノ金額ハ少イ金額デアアル、何故カト云フト、是ハ現在ノ造林ノ現在價額ヲ言フテ居ルカラ小サクナルノデアアル、ダカラ農林省統計ニ示シテアル所ノ二十年生以下ノ被害ノ金額ト云フモノハ、是ハ現在價額ニ依ッテヤッテ居ルノデアアル、我々ノ爲サムトスル所ハ將來價額デアアル、然ルニソレデナイノデアッテ過去價格デアアル、併シナガラ再造林ヲ考ヘルノデアルト云フコトヲ明瞭ニスレバ宜イノデアッテ、サウ云フコトヲ曖昧ニシテ、斯ウ云フ本案ノ審議ヲ進メヨウト云フコトガ大變不深切デアルト思ヒマスカラ、此ノ委員會ニ速カニ其ノ資料ヲ提供シテ戴キタイ、是ハ資料ニナッテ居ナイ、此ノ保險ヲ經營スルニ付テ目標トシテ居ル所ノ被害損害ハ是ダケアル、

此ノ損害ヲ救済セムガ爲ニ我々ハ茲ニ保險制度ヲ確立スルノデアルト云フコトノ説明ヲセズシテ、我々ガドノ位ノ金額ガ此ノ保險ニ於テ救ハレルノデアアルカト云フコトヲ知ラナイデ審議スルコトハ、私ハ出來ナイト思フ、速カニ資料ヲ提供セラレムコトヲ望ミマス

○政府委員(村上龍太郎君) 被害總額ハ是ハ農林統計ニ依ッテ出シテ居リマス、ソレカラ二十年生ノ造林地ノ被害面積ハ、是ハ火災保險デアル爲ニ特別ニ取ツタ統計カラ出シテ居リマスノデ、其ノ統計ニハ被害價額ヲ出シテ居リマセズデ、ソレヲ御目ニ懸ケタノデアリマス、我々ノ狙ッテ居リマス所ハ、ココニ一萬町歩ナラ一萬町歩ノ森林ガ燒ケル、過去ノ統計ニ依リマス、先ヅ二萬二千五百町歩見當ノ燒失面積ニナッテ居リマスカラ、假ニ是ガ松ヤ杉ヤ色々物ニ依ッテ違ヒマスカラ、大ザッパニハ言ヘマセズガ、假ニ是ガ一町歩八十圓掛ルモノナラバ、一町歩八十圓分ノ二千五百町歩ノ此處ニ再造林費ガドウシテモナクチャナラズ、又ソレダケ金ヲ掛ケタモノガ失ハレテ行クト云フコトニナリマスノデ、大體ソレデドレ位ナ損失ガ起リツ、アリ、又ドレ位ナ再造林費ガ要ルカト云フ目安ハ付クモノト我々ハ考

ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 私ハ付カナイト云フコトヲ斷言スルノデアリマスカラ、資料ヲ出シテ戴キタイ、註文シテ居ルノデス、此ノ表ニ書イテアル所ノ、第十二頁ニアリマス所ノ、價額ト云フ所ノ價額ヲ出シデ戴キタイト云フコトヲ政府委員ニ要望致シマス、ソレカラ元來保險ト云フモノハ、保險價額ト云フモノト、保險金額ト云フモノトヲ對照シテ、是ハ論ジ得ルノデアリマスカラ、保險價額ト云フモノヲ知ラズシテ、保險金額ダケノ議論ヲスル譯ニ行カナイ、今山林局長ノ言ハレタ此ノ八十圓トカ云フコトハ表ニ載ッテ居リマス、ソレハ二十頁、二十一頁ニ載ッテ居ル、ソレハ標準金額デ言フノデアッテ、保險金額ト云フコトガ書イテアル……、保險金額ト云フコトハアリマセズガ、保險料ノ所ニ「保險金千圓ニ付」ト云フコトガ書イテアル、サウシテ標準金額ト云フモノハ保險金額デアアルカ、保險價額デアアルカ私ニハ分ラナイ、法律ハサウ云フ曖昧ナコトヲ許サナイ、第十一條ニ明カニ書イテアル、ソレハ十一條ヲ見マスト云フト「同一ノ目的ニ付本法ニ依ル保險契約ノ外他ノ保險契約存スル場合ニ於テ保險金額ノ總額ガ保險價額ヲ超過シタルトキハ政府ノ負擔額

ハ本法ニ依ルト云フコトガ書イテアル、ソコデ保険金額ト保険價額ト云フコトガ此處ニ書イテアリマスカラ、保險金額ト保險價額ト云フコトヲ此處ニ明瞭ニサレナイト云フト、我々ハ保險價格ノ基礎ガ分ラナイト云フコトニナル、此ノ十二頁ノ表ハ保險價額ナンデス、是ハ保險價額ヲ示スモノナンドエヨ、ソレヲ示シテ戴キタイト云フコトヲ私ハ要望シテ居ル、保險價額ナクシテ保險ノ審議ヲ私トシテハ出來ナイ、ソレカラモウ一ツ重大ナ問題ガ此處ニ起ッテ來ル、ソレハ農林省デ行ハムトスル保險ハ二十年以下ノ保險ヲ行フ、所ガ民間ニ於テハ十年以上ヲ行ッテ居ル譯ナンデス、ソレハ此處ニ表ガ出テ居ルノデアリマスカラ……商工省調査ト云フ所ニ表ガ出テ居ル、是ハ森林火災保險樹齡別事業成績、昭和十年度ト云フ風ニナッテ出テ居ル、是ハ商工省調査ト云フコトガ初ノ欄ニ書イテアリマス、前ノ方ノ森林火災保險年度別事業成績「商工省調査」ト云フコトガアツテ、其ノ次ニ續イテ森林火災保險樹齡別事業成績、昭和十年度トアリマスカラ、是ハ商工省ノ調査デアリマセウネ

○政府委員(村上龍太郎君) サウデアリマスカラ、サウナルトドウ云フコトガ書イテアルカト云フト、十年生以下ト云フノガ八件、新契約デス、新契約十年生以下八件、ソレカラ十一年生以上二十年生以下百十四件、面積四千五百九十九町歩二二ト云フ風ニ出テ居ル、金額ガ五十三萬二千四百六十一圓ト云フコトニナッテ居リマス、是ガ非常ナ問題ナンデス、此ノ十一年以上二十年以下ト云フ此ノ區分ハ、是ハ農林省ノ方デ矢張り今度國營保險ヲヤル部分デアアル、ソレデ商工省ノ所管デアアル所ノ民間ノ保險會社モ十年以上二十年以下ト云フ保險ハ經營スル譯ナンデス、所ガ商工省ノ監督シテ居ル民間ノ保險會社ノ保險價額ハ、恐ラクハ現在ノ價額デ行クノデヤナイカト思ハレル、此ノ現在價額ニ依ッテ居ル保險價額ト、ソレカラ過去價額ニ根據ヲ置イテ居ル所ノ農林省ノ國營保險トシテ、今ノ第十一條ノ適用ニ於テ他ニ契約ガ存スル場合ニ於テ算出ガ非常ニ困ルノデヤナイカト私ハ思フ、保險價額ヲ超過シテ居ル場合ニ算出ノ方法ヲドウナサルノデアリマスカ、保險價額ガ違フノデアリマスカ……農林省ノ保險價額ト商工省ノ保險價額ガ違フ場合ニ於テ、之ヲドウ運用スルノデアリマスカ、是ハ今日直チニ答辯ヲ求メマセス、是ハ商工省ト御相談

ノ上、第十一條ノ適用ノ御説明ヲ願ヒタイ、商工省ハ十一年生以上二十年生以下ノ保險金額ノ算出ニ付テ超過保險ナリヤ否ヤト云フコトノ基礎ヲ何處ニ置クカ、ソコデ超過保險ナリヤ否ヤト云フコトノ基礎ガ分レテ來ルノデアリマスカ……保險價額、保險金額ノ方ガ保險價額ヲ超過シテ居ル場合ニ保險契約ハ無効トスト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカ……是ハ保險契約ノ根本問題デス、凡ソ火災保險ト云フモノハ損害填補ノ契約ナンデアル、損害填補ト云フコトハ損害ガナイノニ填補スルト云フト、是ハ賭博ニナル、賭博ニナルカ、保險ニナルカト云フ非常ニ重要ナコトデアリマスカラ、第十一條ノ運用ニ付テ商工省ノ保險價額ト農林省ノ保險價額ガ同ジナリヤ否ヤ、又同ジニセシムル積リナリヤ否ヤ、其ノ點ヲ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイ、今日ハ恐ラク明瞭ニ御答辯ガ出來ナイト思ヒマスカラ、資料ノ提供ト同時ニ答辯ヲ求メマセ

○松村眞一郎君 ソレカラ水産局ノ方ノ政府委員ニ御願ヒスルノデスガ、昨日御願ヒ致シマシタ組合ノ地區デスネ、初年度ニ於テハドノ地トドノ地トヲ保險ノ目的ニスルカト云フ點ニ付テ、ソレハ今日ハ大臣ノ御答辯ヲ承リマスト云フト、小漁船ニ力ヲ入レルノデアアル、我々ノ要望モ其ノ點ニ力ヲ入レテ居ル、ソレデ二十「トン」カ三十「トン」以下ニ限レルカト云フトノ御質問ニ對シテノ大臣ノ御答ハ、百「トン」以下デアアル、斯ウ云フトデアアル、百「トン」ト云フト我々ガ考ヘテ居ル中小ト云フモノトハ違フ、大漁船ニナル、大臣ノ御答辯ガ其ノ點ニ於テ私ハ明確ヲ缺イテ居ルト思フ、ソコデ保險組合ヲ組織セシメテ、ドンナヤウナ風ニサレルノデアアルカト云フトノ事務當局ノ、モウ少シ明確ナ議論ヲ承リタイ、私ハ漁船保險ニ付テハ全國ヲ一地區トシテ、サウシテ國營保險ニシナケレバナラストト云フトヲ確信シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ見地カラ言ッテドウシテモ全國ヲ區域ニシタ所ノ漁船組合ヲ作ラナケレバナラスト思フ、トコロガ保險經營カラ申シマスト、澤山ナ保險料ノ收入ガアツタガ經營ガ便利ナシタ、澤山ノ收入ヲ提供スルモノ、營業費ノ少ナイモノハ大キイ船ノ保險ヲ引受ケレバ營業費モ少イ、即チ

附加保險料が少クテ済ム、サウスルト保險ノ經營上ニ非常ニ便利ナシ、ソナヤウナ關係デアリマスカラ、ドウシテモ大漁船ヲ、保險契約ノ財源ノ關係カラ申シマス、入レタ方宜イト云フコトニナル、併シナガラ其處ニ危險ガ伴フノデアリマスカラ、唯保險料ガ多額デアルカラト云ツテ、保險金額ヲ拂フコトモ亦多額ニナリマスカラ、保險料ノ多額ナルコトヲ直チニ有利ナリトシテ斷言ガ出來ナイ、出來ナイケレドモ、危險ノ區域ヲ非常ニ廣クスルト云フ意味ニ於テハ、大漁船タルト小漁船タルトヲ問ハズ、總テ收容スルト云フ方法ノ方ガ、經營ノ上ニ非常ニ便利デアル、ソレト同時ニ私ガ申シマシヤウニ、小漁船ノ全部ニ及ブト云フコトガ非常ニ必要ダト思フ、若シ經營ノ安全カラ申シマス、大漁船ニ付テハ昨日モ議論ヲ致シタ如ク、捕鯨船ガ一艘アツテ、此ノ中ニ小サナ漁船ヲ入レテ漁船組合ヲ作ルト云フト、非常ニ不自然デアリマスカラ、大漁船ハ大漁船ダケデ漁船保險ヲ、若シ組合ヲ作ルナラバ作ラセル外ナイト思フ、若シサウ云フコトヲスルト云フト、非常ニ又茲ニ大資本主義經營ニ對シテ、農林省ハ保護スルトガ厚クシテ、小漁業者ハ又置イテキボリニサレル處ガアル、何故カト云フ

ト、大漁船ハ全國ノ區域デ漁船組合ヲ作ラセマスト云フト、其ノ大漁船ハ一躍シテ法律ノ適用ヲ受ケテ利益ヲ均霑スル、小漁船ノ方ノ漁業組合ハ十年先ニ出來ルノデアリマスカラ、大臣ハサウ云フコトハ待ッテ居ラレナイト云ツテ今日言明サレマシタ、或ハ案ノ建直シヲサレルト云フコトヲ言明サレタノデアリマスカラ、兎モ角其ノ計畫ハサウ云フコトニナッテ居ル、サウスルト大資本主義ノ漁業ト云フ問題、ソレカラ慘メデアッテ氣ノ毒デアルト云フノハ、我々ガソコニ著眼シテ居ルノデヤナイ、氣ノ毒ノ方面ヲ要望シテ居ル、要望シテ居ル方面ノ均霑ハ僅カデ、サウシテ要望スル必要ノナイ、殊ニ保險會社ガ喜ンデ引受ケルト云フ方面ノ方ガ先キニ均霑スルト云フコトニナッテ來テ、又非常ニ私ハ不公平ガ、法律ノ施行上起ルコトニナリハシナイカ、ナカク漁船組合ト云フモノノ設立ニ付テハ、細心ノ注意ヲ御用ヒニナラヌト云フト、又危險ガ伴フト云フコトニナリマスカラ、能ク其ノ邊ハ慎重ニ御考慮ノ上デ、漁船組合ニ對スル資料ノ提供ヲ願ヒタイト、ソレハ大臣ガ此ノ資料ハ其ノ儘履行スルノデハナイ、ホンノ間ニ合セト云フコトヲ斷言シテ居ラレル以上ハ、私ノ註文シマス所ノ資料ハ……モウ此ノ資

料ニ囚ハレズシテ、能ク大臣ト御相談ノ上、モウ少シ我々ノ方ノ要望ニ近イ意味ニ於ケル資料ヲ提供シテ戴キタイ、ドウ云フ漁船組合ヲ作ルカ、初年度ニ兎モ角取敢ズ斯ウ云フ形デヤッテ見ル積リデアル、二年度以下ノ時ハ改メテ考ヘルコトモスルシ、且漁業者ニ對スル方面ノ保險ヲ考ヘル際ニ、併セテ又之ヲ再檢討スルト云フ趣旨ニ於テ私ハ了解シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ資料ヲ提供シテ戴キタイ、ソレカラ小村侯爵カラ先程漁業者ニ付テノ保險ヲ民間ニ於テ行ッテ居ル者ガアルト云フコトヲ御話ニナッタノデアリマスガ、私ハソレハドウ云フコトヲシテ居ルノカト云フコトヲ農林省ノ方デ調べテ御報告ヲ願ヒタイト思フノデス、ソレハドウ云フ意味カト申シマスト云フト、ソレハ生命保險ヲヤッテ居ルノカ、我々ノ考ヘテ居ル傷害保險ヲヤッテ居ルノカ、其ノ點ガ能ク分ラナイ、唯死亡保險ヲヤッテ居ルカ、即チ生命保險ノ系統デ行キマスと云フト、死亡保險、養老保險ト云フコトニナル、傷害保險「アクシデント」ノ方デ云ヒマスと經營ノ方法ガ違フノデ、初年度ニ保險金ヲ掛ケテ、災害ガ起キタラ又新シキヤルト云フ損害保險ノ方ニナルノデアリマス、全然違フノデアリマスカラ、

民間デヤッテ居ラル、ト云ツテモ、唯ソレハ民間デ見カネテ、サウ云フ特殊ノ御方デ、惠ミ深イ頭ヲ持ッテ經營サレテ居ルト思ヒマスカラ、損益ト云フモノヲ度外視シテヤッテ居ラル、ノダラウト思フ、サウナルト云フノハ、サウ云フ御方ノ方デ農林省ナリ、商工省ナリノ施設ヲ待ッテ居ラレナイガ爲ニ、事故ノ正確ト云フヤウナコトハ敢テ問フテ居ラレナイ、理論ノ一貫ト云フコトハ問フテ居ラレナイ、焦眉ノ急ニ應ジテヤッテ居ラル、ノダラウト思フ、サウ云フ者ハ此ノ意味カラ申シマスと非常ニ缺陷ガアルカラ間ニ合ハセト云フコトニナル、ソレハ満足スル譯ニ行カナイト云フコトハ明瞭デアリマスカラ、ドウ云フコトヲヤッテ居ルカト云フコトヲ、モウ少シ御報告願ヒタイ、ソレニ依ッテ我々ハモウ少シ判斷シテ見タイト思フ、我々ノ要望シテ居ルノハサウ云フノデヤナイ、特殊ノモノヲ作レト云フノデアリマス、傷害保險、災害保險、生命保險ト云フヤウナコトニ付テ、色々漁業ノ特殊ノコトヲ頭ニ入レテ作レ、斯ウ云フノガ要點ナンデアリマス、必ズシモ衆議院ニ於テ議論ガアツタヤウナ工合ニ、勞働保險ノ立場カラ見テ、勞働者ノ社會保險ト云フヤウナ、健康保險ト云フヤウナル立場カラ眺メタ意

味ノ、詰リ大資本デ經營シテ居ル場合ニ於ケル、勞働者ニ對スル保險ノ意味デ私ハ眺メテ居ルノデヤナイ、ソレハ昨日モ申シタ如ク、漁業ニ付テハ業主ト云フモノト被傭者トノ關係ガ、工場トカ鑛山トカ云フモノト違フノデアッテ、業主ソレ自身ガ漁業ヲ經營シテ居ルト云フノデアリマスカラ、ドウシテモ特殊ノ頭デ以テ眺メナケレバナラス、特ニ漁業ニ付テノ事情ニ適切シタ、サウシテ日本ニ於テ初メテ考ヘタト云フ意味ニ於テノ保險ノ確立ガ必要デアルト云フコトヲ私ハ申シテ居ルノデアッテ、唯西洋ノ御手本ニアル傷害保險ノ意味デヤナイノデスカラ……、色々衆議院ノ方デモ深切ニ御考ヘニナツタ結果、サウ云フ要望ガ出テ居ル、ソレヲモ十分尊重シナケレバイケマセヌ、ソレカラ民間デ行ツテ居ルコトモ十分尊重シテ、サウシテ政府デ考ヘラレテ、斯ウ云フコトニ進ンデ行クト云フ方針ヲ明確ニスル意味ニ於テ御尋ネシテ居ルノデアリマスカラ、早速御調ヲ願ヒタイ、サウシテ其ノ資料ヲ印刷物トシテ委員ニ配付シテ戴キタイ、是ハ直グ出來ルダラウト思フ、斯ウ云フコトヲヤツテ居ルト云フコトヲ、之ヲ資料ノ提供トシテ要望致シマス

○白根竹介君 此ノ森林火災保險ノコトデゴザイマスガ、大體「保險ノ話」ト云フ本ト、ソレカラ「参考書」ト云フノヲ讀ンデ見マスルト、保險ヲ申込ミタイト云フ者ハ、市町村役場ニ行ツテ、申込書ニ適當ノコトヲ書イテ、該當ノコトヲ書イテ願ヒ出ル、同時ニ保險料ヲ拂込ム、サウスルト市町村役場ハ地方長官ニ申込ンデ、地方長官カラ保險證書ヲ渡スト云フヤウナ順序ノヤウデ、誠ニ極ク簡單ニ書カレテ居リマスガ、保險料トカ、保險價額ノ査定ダトカ云フヤウナコトハ、矢張り町村役場ノ方デ主トシテヤルデセウガ、又將來保險事務ニ付テノ監督ノ系統ト云フモノハドウ云フ風ニナルモノデゴザイマセウカ、其ノ邊ノ事務的ノ方面ヲ一ツ御説明願ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 此ノ保險ハ一町歩幾ラデ取ルノデアリマシテ、ソレデ其ノ保險金額、標準金額、是ハマア標準金額デゴザイマシテ、地方ニ依ツテ多少ノ相違ヲ作ラナケレバナラヌ場合ゴザイマセウシ、ソレガ最高限ニ達シマス、ソレ以上ハ取ラナイコトニ致シマス、初メ取ルノニハ價格ノ算定、評定ナド致シマセヌデ、大體其ノ地方ノ造林費以下ヲ目安ニシテ計算シタ金額ニナツテ居リマスカラ、其ノ金額以內ナラバ簡單ニ引受ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ今ノ監督系統ト申シマス、如何様ナ御尋デゴザイマセウカ、或ハ御質問ノ趣旨ヲ私穿キ違ヘテ居ルカトモ思ヒマスルガ、實際ノ事務ノ取り方ハ地方廳ニ保險ノ關係ノ人ヲ配置致シマシテ、サウシテ地方廳デ事務ヲ執リマシテ、サウシテ農林省ト連絡ヲ取り、農林省ガソレヲ監督スル、損害ガ起リマシタ場合ニハ又地方廳ノ方デ取扱フ、無論其ノ取扱フ人々ヲ十分訓練ヲ致ス必要ガゴザイマスガ、出來得ル限り簡易ナ方法デ行キタイト考ヘテ居リマス、御質問ノ趣旨ヲ穿キ違ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、若シ左様デゴザイマセヌナラバ、又改メテ御答ヘ申上ゲマス

○白根竹介君 サウスルト主ニ町村役場ノ方デ何町歩現存シテ居ル、ソレカラドウ云フ木ノ種類ガ植ハツテ居ル、ソレカラ何年位ノモノト云フコトハ町村役場デ認定スルノデスカ

○政府委員(村上龍太郎君) 初メノ引受ノ際ニハ、町村役場ノ方デ認定シテ居リマス

○白根竹介君 ソレカラハ先キニ松村委員カラ御質問ノアツク點ニ觸レルノデスガ、漁業ノ方デ行政官廳トアルノハ、大體下ノ官廳デスカ、例ヘバ第二十六條ニ「行政官廳」ハ云々ト云フノガアリマスガ……

○政府委員(原辰二君) 此ノ場合ノ行政官廳ハ農林大臣ト考ヘテ居リマス

○白根竹介君 ソレカラ一般會計カラ金ヲ出ス、其ノ一般會計受入金ト云フモノハ、ソレハ繼續費デ取ツテ居ラレルノデスカ、或ハ一年度デ行クノデスカ、是ハ漁業ト山林ト兩方ニ關係シタモノデスカ……

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ繼續費デハ取ツテ居リマセヌ、大體ノ豫想ハ付ケテ居リマスガ、是ハ加入數ガ殖エテ來レバ又ソレエ依ツテ變ツテ參リマス、繼續費トハ致シテ居リマセヌ、大藏省等ニ話ハ致シテ居リマス

○政府委員(原辰二君) 漁船保險ノ關係モ同様デゴザイマス

○白根竹介君 漁船ノ方モ矢張り事務ノ問題デスカ、漁業組合トカ水産局ナンカトドウ云フ連絡ヲ取ツテ行カレマスカ、私共トシテハ非常ニ密接ナ連絡ヲ取ツテ行カナケレバナラス、又密接ナ連絡ヲ取ルコトニ依ツテ事務費ガ非常ニ省ケルノデヤナイカト思ヒマス

○政府委員(原辰二君) 此ノ漁船保險ノ實行ニ當リマシテ、漁業組合、水産會等ノ團體ト連絡ヲ取ルト云フコトハ、御話ノ通り

最モ重要ナ事項ト存ジマス、御承知ノ通りニ此ノ漁業者ハ漁船保險ノ要望ハ多年ノ大變ナ要望デゴザイマスガ、併シナガラ又一面ニ於キマシテ、松村サンカラモ纏、御話ノゴザイマシタヤウニ、此ノ何ト申シマスカ、無頓著ト申シマスカ、アツサリシ過ギテ居ルト申シマスカ、保險ノ如キ仕事ニ對シマシテハナカク、マダ理解ヲ持ツテ居ル程度ガ低イモノト見ナケレバナラスト思ヒマスノデ、從ヒマシテ、此ノ法律ヲ運用致スニ付キマシテハ、先ヅ此ノ保險思想ノ涵養、普及ト云フ方面ニ非常ニ努力ヲ致サナケレバ實ハナラスト考ヘテ居リマスノデ、サウ云フ方面ニ於キマシテ此ノ水産會ナリ漁業組合ナリ、當業者ノ所謂團體ト云フモノノ協力ヲ俟ツベキコトガ非常ニ多イト思ヒマスシ、又其ノ方ガ所謂役人ノ洗練以上ニ有效ナ方法トモ考ヘテ居リマス、又例ヘバ此ノ保險料ノ徴收ノ關係等ニ付キマシテモ、御覽戴キマシタヤウナ料率ニ依リマシテ契約ガ出來マシテモ、ソレヲ普通都會地ニ於ケル保險業者トノ間デ契約ヲ締結シ、同時ニ保險料ヲ拂込ムト云フ風ナコトニ考ヘル譯ニハ參ラス場合ガ相當多カラウト、斯様ニ考ヘマスノデ、例ヘバ漁業組合デハ現在ノトコロ相當ニ普及モ致シ、活動モ致スヤウ

ニ參リマシテ、組合員ノ漁獲物ノ共同販賣トカト云フ風ナ事業モ相當程度行ハレテ居リマスカラ、サウ云フ風ナ關係ニ結ビ付ケマシテ、組合員ノ漁獲物ノ賣上金カラ若干ヅツ普段カラ拂込ミ、保險料ニ當テル爲ニ天引ラシテ貰フトカ等ノ、種々便宜ヲ圖ツテ貰フト云フヤウナコトナンカモ、實行上非常ニ有效適切ナ場合ガ多カラウ、斯様ニモ考ヘマシテ、御説ノ如ク此ノ保險ノ運用上ニ於キマシテハ、ソレ等ノ團體ハ十分ニ提携ラシテ參ラナケレバナラス、又サウ云フ考フ以テマシテ、農林省トシマシテモ十分ニ漁船保險組合ト同時ニ又水産會ナリ、漁業組合方面ニモ指導ノ手ヲ加ヘテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○白根竹介君 山林ノ方デスガ、今ノ町村役場カラ書類ガ出テ來ル、サウストル知事ガ保險證書ヲ渡ス、ソレデ唯書類ガ出テ來タ、盲デ渡シテシマツテ、知事ガ何モ責任ガナイト云フヤウナ建前ニナルノデアリマスカ

○政府委員(村上龍太郎君) 矢張り縣廳ニ於キマシテモ、其ノ地方ノ保險料率或ハ保險金額、其ノ外特別審査ノ要點ヲ定メテ置キマシテ、ソレヲ引合セマシテ誤リガナイカ否カラ糺シテ、サウシテ書類ヲ調べテ、

保險證書ヲ製作シテヤルヤウナ、何カ方法ヲ考ヘテ居ルト思ツテ居リマス

○山本米三君 只今御尋ノ、此ノ市町村役場ハ其ノ山林所在地ノ市町村役場デゴザイマスカ、所有者ガ他デゴザイマスドトウ云フ風ニナルノデアリマスカ、其ノ點ヲ……

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ出來ルタケ何處デモ宜イコトニスレバ一番便利ナンデアリマスガ、例ヘバ東京ノ市役所デ以テ長野縣ノ山ノ保險ヲ引受ケテ、ソレデハ山ノ狀態ト云フヤウナコトモ能クハ分リマスマイシ、致シマスノデ、是ハ現在ノトコロ山ノ有リマス所ノ村役場、町村役場ト云フ風ニ致シテ居ル外仕方ナイカト思ツテ居リマス

○山本米三君 トコロデ此ノ手續ハ到底民營ノヤウナ迅速ナ手續ハ出來マイト思ヒマスガ、從來官廳ノ執務ノヤウナヤリ方ノヤウナコトニ、遅クナル憂ヘハナイノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 其ノ點ニ付キマシテモ、此ノ町村役場ノ取次ガ遅レル、縣廳ノ書類ガ遅レルト云フコトデアリマスト、折角保險ヲ附ケタ人ノ趣旨ガ徹底致サヌコトニナリマスノデ、左様ナ事ガナイヤウニ是ハ十分注意ヲ致シテ參リタイト考ヘ

テ居リマス、手遅レノナイヤウニ迅速ニ運ブヤウニ、其ノ方面ハ保險施行ノ當初カラ十分ヤカマシク督勵ヲ致シマシテ、此ノ扱ヒヲ敏速ニスルヤウニ近ヅケテ參リタイト思ヒマス

○山本米三君 要綱ニハ、原則トシテ實地ノ審査ヲ行ハズトゴザイマスガ、是ハ査定、實地ノ調査ヲ行ヒマスルコトハ、時日ト費用ノ問題ニ於キマシテ許サレナイコトト思フノデアリマスルガ、鄭重ニ扱フト云フ意味デモアルノデアリマスカ、御扱ニナル上ニ於キマシテハ到底之ヲ一々調査ニナルコトハ出來マイト思フノデアリマスガ、此ノ點一應事務ノ矢張り、敏速ニ關スル問題デゴザイマスカラ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 其ノ點ハ敏速ハ御話ノヤウニ一々調査ナドヲ致シテ居リマスト費用モ掛リマスシ、又再造林費ヲ目安ニシテ參リマスノデアリマスカラ、サウ一々調査ラシナイデモ宜シイト考ヘテ居リマス、特殊ノ造林ナドヲ致サレマス場合等ニ付テハ、矢張り調査ヲ致サナケレバナラス場合モアラウカト考ヘテ居リマス、サウ何時デモ審査ハシナイト云フ風ニハッキリハ致サナイコトニ致シテ居リマス、簡易保險デゴザイマスト身體檢査ヲ行ハスト云フ

コトハハッキリ書イテ居ル、コチヲハ行ハナ
イトハ考ヘテ居リマセヌ、併シ何ト申シマ
スカ、原則ハ行ハヌトシテ行キタイト考ヘ
テ居リマス

○山本米三君 是ハ大變執行ノ上ニ於キマ
シテ重要ナコトト思フノデアリマスガ、或
者ニハ行フトカ、或者ニハ行ハヌト云フコ
トモ不公平モ出来マスデアリマセウシ、或
ハ委任事項トシテ村役場ニ十分其ノ責任ヲ
持タシテオヤリニナルノガ宜イデハナイ
カ、又御調査ナサレルモノナラバ、前以テ
ソレ等ノ準備ヲヨク御整ヘニナルト云フコ
トニデモナリマセスト、申込ガアツテポツ
ポツ御調査ニ御掛リニナリマシテハ、折角ノ
法案ノ施行ガ出来ヌヤウニ考ヘマスデゴザ
イマスガ、其ノ點ヲモウ一應御伺ヒシタイ
ト思ヒマス

○政府委員(村上龍太郎君) 原則ハ何處マ
デモ審査ヲシナイデ簡易ニ行キタイト云フ
考ヲ持ツテ居リマス、唯特殊ノ造林ナドヲ
致シテ居ル、或ハ特別ノヤリ方ヲ致シテ居
ル、普通デハイケナイト云フ風ナ場合ニノ
ミ調査ヲ致スノデアリマスカラ、實際問題
ト致シマシテハ、左様ナ特別ノ場合ハサウ
澤山ゴザイマスマイガ、調査ヲ特ニ致スト
云フ風ナ場合ハ餘リ生ジナイコトト考ヘテ

居リマス

○山本米二君 第七條ニ「政府ノ責任ハ特約
アル場合」トゴザイマスガ、何カ是ニハ當嵌
マルモノガゴザイマスノデゴザイマセウカ、
御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ斯ウ云フ
場合ナドヲ想像致シテ居リマス、例ヘバ今造
林ヲ致シカケテ居ル、併シ今申込ヲシテ置
キマスガ、造林ガ出来上ツテカラ、植付ガ
濟ンデカラ責任ガ始マルコトニシテ貫ヒタ
イト云フヤウナ希望ガアツタ場合ニ、ソレニ
モ應ジラレルヤウナコトニシタイト云フヤ
ウナ考カラ、斯様ナコトニシテ居リマス
○山本米三君 第九條デアリマスガ、是ハ
此ノ法案ハ再造林ヲ容易ナラシメル目的ニ
依ツテ作ラレタモノダト致シマスルト、餘リ
斯ウ云フ風ナ、重ネテ保険ニ加入セラレマ
スヤウナ方モアリマスमित思ヒマス、民
間ノ經營ノ保險會社ニ契約ガアリマスレバ、
新タニ官營ノモノガ出来タカラト申シマシ
テ、其ノ契約ノ終リマスマデハ重ネテ國營
ノ方ニ加入スル方モナイト思ヒマスルガ、
アリマスル場合ニ、再造林ノ目的ノ爲ニ入
リマスル以上ハ、斯様ナ重ナリマスコトハ
許サナイ方ガ宜イノデハナイカト思フノゴ
ザイマスガ、御所見ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(村上龍太郎君) 私共モ今ノ仰
セノヤウニ見テ居リマス、現在保險會社ガ
ゴザイマスケレドモ、二十年生以下ノモノ
ガ入ツテ居リマスノガ、五千町歩ニ足リナイ
程度デセウガ、十何年經テモ二十年生以下
ノモノガ五千町歩ニ足リナイ状態デアリマ
ス、保險料率カラ申シマシテモ、政府ノ方
ガ安クナツテ居リマスカラ、實際問題ト致
シマシテハ、此ノ民間ノ保險ト重複スルト
云フコトハ事實ノ問題トシテハナイト思ヒ
マス、理窟ノノ上デハ絶對ニナイトハ申シ
マセヌケレドモ、事實ノ問題トシテハサウ
起ルマイト我々ハ想像ハ致シテ居リマス
ガ、併シ政府ノ保險ヲ附ケタモノヲ他ノ保
險會社ニ附ケテハイカスト云フヤウナコト
ニスルコトモ如何カト思ヒマス、例ヘバ、
千圓ノモノナラバ、五百圓ハ政府ニ附ケ、
五百圓ハ民間ニト云フコトモアルグラウト
思ヒマスガ、其處マデ統制致スノモ如何
カト思ヒマシテ、ソコデ政府ニ附ケタノヲ
民間ニ附ケテハイカスト云フヤウニ禁止ハ
致シマセヌ、禁止ヲ致サヌコトニナルト重
複スル場合ガアルデヤナイカト云フコトニ、
理窟ノ上デハナリマスガ、併シ實際問題ト
致シマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ重
複スルコトガ先ヅナイト見テモ宜シイ程度

○山本米三君 第十二條ノ場合ハ、是ハド
ウ云フ場合ヲ想像シテゴザイマスノカ、一
應御示シテ願ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ保險證書
ニ、例ヘバ安イ方ノ關係ノ保險料ニナルヤ
ウナコトガ書イテアルガ、事實ハ保險料ヲ
高ク拂込ムベキモノデアッタト云フ風ナ場
合ニハ、ト申シマスノハ、斯ウ云フ場合モ
餘リ常識的ニハ言フノハラカシイカモ知レ
マセヌガ、林齡八年ノモノヲ十二年ト假ニ
書イタ、サウスルト、十二年ノ方ガ八年ノ
若木ヨリハ保險料ガ安イ譯デアリマス、八
年ノモノナラモウ少シ高ク拂込マナケレバ
ナラヌ譯デアリマスカラ、ソコニ間違ヒガ
アリマスカラ、或ハソレヲ間違ッタコトヲ
言ツテ來タノダカラト云フノデ、契約ヲ解除
スルトカ云フ問題モ起リ得ル譯デアリマス、
併シ此ノ保險ハ出來ルダケ契約解除ナドハ
致サナイデ、保險關係ヲ續ケテ参リタイト
云フ風ナ趣旨ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノ場
合ニハ假ニ一圓拂込ムベキモノヲ、木ノ年
齡ガ間違ッテ居ッタ爲ニ八十錢シカ拂ッテ居
ラナケレバ、其ノ八十錢ニ相當スル今度ハ
保險金額ノ方ヲ減ジマシテ、假ニ初メノモ
ノガ百圓附イテ居ッタナラ、ソレヲ八十圓ニ

ノモノデヤナカラウカト思ッテ居リマス

減ストカ云フ風ニ致シマシテ、保險契約ヲ續ケテ行キタイ、ソレガ爲ニハ保險料ハ元ノ儘ニシテ置イテ、保險金額ヲ減シテ續ケテ参リタイ、サウ云フ趣旨ノ規定デアリマス

○山本米三君 第十六條デアリマスガ、被保險者ハ其ノ負擔ニ於テ損害ノ防止ニ力ムルコトヲ要ス、火災防止ノ問題デゴザイマスルガ、尤モナコトトハ思ヒマスルガ、此ノ法案ニ別ニ是ハ載セマセズモ宜イノデアアリマセスカ、別ニ載セテ惡イトハ申ス

ノデハゴザイマセスカ、是ハ森林所有者ト致シマシテモ、申ス迄モナク力メマセナケレバナラヌ徳義上ノ問題デゴザイマス、特ニ之ヲ法律トシテ載セマスルコトハ如何デゴザイマセウト思ヒマスガ、御所見ヲ……

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ商法ノ方ノ火災保險ノ規定デハ、此ノ消防ノ爲ニ必要ナ費用モ保險者ノ方デ拂フコトニナッテ居リマス、ソレカラ保險ノ目的ニ付テ、消防ノ爲ニ生ジタモノモ拂フコトニナッテ居リマスガ、此ノ場合ニ此ノ保險ニ於キマシテハ、消防ノ爲ニ必要デアツク費用、即チ炊キ出シノ費用ナドハ政府ハ拂ハスト云フ趣旨ヲ明カニ致シタノデアリマス、是ハ山火事等ノ場合ニハナカク、サウ云フ費用ノ算

定ガ困難デアリマスシ、實際山村ノコトデアリマス、費用計算ナドヲ構ハズ、互ニ情誼デ以テ總テ動イテ参リマスノデ、其ノ場合ノ計算ハ困難デアリマス、一人ノ山ガ焼ケルバカリデナシニ、色々ノ人ノ山ガ一緒ニ焼ケルト致シマス、困難デアリマス、ソレハ山村ナドデアルト當然ノコトト思ヒマスガ、商法ニハ其ノ場合ニ保險者ガ拂フ規定ガゴザイマスノデ、特ニ書イテ居リマス

○山本米三君 第十九條ニ「保險期間中危険ガ著シク増加シタルトキハ」、又其ノ次ニモ「保險期間中危険ガ著シク増加シタルトキハ」、危険ガ著シク増加ト申シマスレバ或ハ林地ガ燒ケテ來タト申シマスルカ、ドウ云フ風ナコトヲ申スノデゴザイマセウカ、承リタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 此ノ十九條ハ林地ガ燒ケテ來タカラ危険ガ著シク増加シタト云フ風ナコトハ考ヘテ居リマセス、其ノ地域ガ特ニ火災ノ多イヤウナ状態ノ地域ニ變タト云フ風ナ場合ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、實際問題ト致シマシテハ、山ノコトデアリマスカラ斯ウ云フ場合ガ餘リ生ズルモノトハ私共ハ想像ハ致シテ居リマセヌガ、又無イトモ言ハレナイト思ヒマス、例ヘバ火ノ粉ノ澤山出ル何カ仕事ガ其ノ森林

ノ附近デ始マツタ、ソレガ爲ニ森林ノ火事ガ特ニ多サウナ状態ニナツタカ云フ風ナコトナド其ノ一例デゴザイマセウガ、併シ山ノ中デサウ火ノ粉ノ出ルヤウナ仕事ガ度々出ルルトモ考ヘテ居リマセス、マアサウ云フ風ナ場合ガ起ツタラ、バト云フコトヲ考ヘテ規定ヲ致シタノデアリマス

○山本米三君 此ノ要綱ノ保險金額ノ問題デゴザイマスガ、保險料ノ率ノ見方ガ針葉樹ト闊葉樹トニハ餘程ノ相違ガ出來テ居リマスルノハ、是ハ保險程度ガ異ナル譯デゴザイマセウカ、ドウ云フ理由デゴザイマセウカ

○政府委員(村上龍太郎君) 闊葉樹ノ方ガ比較的統計上火災ノ危険ガ少イト云フ點モゴザイマスガ、モウツ闊葉樹ノ方ハ燒ケマシテモ針葉樹ト燒ケ方ガ多少趣ヲ異ニ致シマスノデ、全燒ノ場合ガ比較的針葉樹ト比ベテ少イモノト認メテ税率ガ低クナッテ居リマス

○松村眞一郎君 保險ノ話ト云フ方ノ第十頁ヲ見マス、右ハ標準料率デアツテ、特ニ危険ノ多イ所ヤ少イ所ニ付テハ多少ノ増減ヲ免レナイト云フコトガ書イテアリマス、此ノ規定ハ危険ノ方カラ見テ居ルノデゴザイマスガ、私ハ其ノ森林ノ種類ニ

依ツテ、保險ノ料金ニ付テノ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、御考ニナッテ居ルカドウカ存ジマセヌガ、ナッテ居ラナケレバサウ云フヤウニシテ戴キタイ、ソレハドウ云フ意味カト申シマス、保安林ノ關係デス、國土保安上非常ニ大切ナ問題ハ保安林デアリマスカラ、保安林ハ大抵ハ天然林デアリマセウ、併シソレガ燒ケタ場合ニハ人工植栽林ト云フモノガ起リ得ル譯デスカラ、サウ云フヤウナ人工植栽林ノ場合ニハ、當然此ノ法律ガ適用サレルコトニナリマセウ、併シ保安林ノ如キモノハ天然林デアツテモ

保險ニ入り得ル途ヲ御開キニナツタ方ガ宜イノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、保安林ノ方ノ輪伐林デアレバ是ハ全部免除シテモ宜イト思フノデアリマス、輪伐林ト云フヤウナモノガ燒ケタ場合ニハ矢張り進ンデ自腹切ツテ植エルト云フヤウナコトヲサセル方ガ宜イノデナイカ、ソレハ私ハ寧

ろ保險料ヲ免除スル方ガ宜イノデナイカト思フノデス、ソレカラ保安林ノ方ノ資源林ハ一部ヲ免除スルノガ宜イト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラシテ、危険率ト云フヨリモ森林ノ性質ニ依ツテ色々ノ種類ノ保安林ガアツテ、ドウシテモ國土保安上ナケレバナラヌモノデ、寧ろ謂

ハバ民有林ト云フコトヨリモ總テ國有林ニシテシマツタ方ガ宜イト思フ、ソレヲ民間ガ有ッテ居ルト云フコトハ大變政府ガ助カナル譯デアリマスカラ、特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、若シ御考慮ガナケレバ……是ハ希望デアッテ質問デナイノデアリマスガ、ドノヤウナ御考デアルカ、其ノ點ヲ承リタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 保安林ニ付キマシテハ、モウ少シ保安林ニ付テノ考ヘ方ヲ進メタイト云フ考カラ、或程度ノ調査ヲ致シテ居リマス、從來植林ナドモ其ノ調査ガ出來テ居ラスノデアリマスカラ、水産當局トモ連絡ヲ取リマシテ、モウ少シ考ヘネバナラスノデハナイカト思フ點ガゴザイマス、其ノ外ノ點ニ付テモマダアリマスケレドモ、是ハ保安林ノ問題トシテ一ツ考ヘテ參リタイト思ッテ居リマス

○松村眞一郎君 次ニ遞信局、郵便局ノ利用デスネ、是ハ漁村ノ方面カラ申シマス、ドウモ漁村ハ貯蓄心ガナイ、ソレデ貯蓄ト云フコトヲ矢張り獎勵スル必要ガアルト思フ、漁ガ多ク時ニハソレヲ積マセル、ソレデ漁業組合、共同組合ニ於テノ信用事業ヲ行フコトノ出來ルヤウニシテ貰ヒタイト云フ要望ハ、サウ云フ所ニモ重要點ガ置カレテ居ル譯ナンデス、サウ云フ譯デアリマ

スカラ、ドウシテモ此ノ漁業組合ノ方ニモ貯蓄ノ獎勵ヲシ、郵便貯金ヲモ利用シテ、サウ云フ風ナ勤儉實質ナ素質ヲ漁村ニ植エ付ケテ行クト云フコトハ、非常ニ大切ナコトト思フ、ソレニ付テハ先程話サレタコトニ幾ラカ觸レテ居ルノデアリマスガ、元來政府ノ簡易保險ト云フモノハ無審査保險デ

行ッテ居ル、ソレハ對人信用デ來テ居ルノデアリマスカラ、保險ヲ附ケニ來ル人ガ正直ナ人デアレバ、マサカモウ死ニカケテ居ルノニ保險ヲ附ケニ來ルト云フコトハナカラウト思フ、郵便局ハ始終郵便物ノ配付ヲスル譯デアリマスシ、殊ニ田舎ニ行ケバ郵便配達人ト云フモノハ、地方ノ各事情ヲ最モ能ク知ッテ居ルダラウト思フ、サウ云フ譯デアリマスカラ郵便局トノ連絡ヲ保ッテ居ルト云フコトハ、無審査保險ト云フ對人信用ノ場合ニ於テハ、非常ニ大切ナコトデヤナイカト思フノデス、府縣ニ於テ保險料ヲ取ッ

タリ拂込シテモ、結局郵便局ヲ利用スルノガ一番宜イト思フ、殊ニ税金ハ現ニ郵便局デ受理シテ居ルノデスカラ、私ガ思フノニハ保險料ノ受理モ郵便局ノ窓口デヤツテ宜イト思フ、愈、拂フ時ニハ府縣ニ森林ノ職員ガ居リマスカラ、愈、拂フ時ニハ其人達ガ見ルノガ宜イト思ヒマスガ、平素

ハ森林ノ職員ガ郵便局ニ居ナイノデスカラ……、新締結ノ當初ハソレハ要件ニシテナイノデ、寧ロ人間ガ眞面目ナデアレバ、昔カラ保險ヲ附ケタカラト云ッテ、火災ノ油斷ヲ平常シサウナデアレバ、或ハ考ヘルデアリマセウシ、ドウモ造林モシテナイシ、又シタ噂モ聞カナイノニ保險料ヲ持ッテ來ルト云フコトニナレバ、窓口デ分ルダラウト思フ、町村ヲ利用スルト同時ニ、矢張り郵便局ヲ利用スルト云フコトガ、森林保險ト行政保險トヲ問ハズ、是ハ大切ナルコトデヤナイカト思フノデスガ、若シ或程度ノ利用ガ出來得ルモノナラバ、是ハ利用サレルガ宜イノデアリマス、結局矢張り現金ノ受理ハ郵便局ノ方ガ宜クハナイカト私ハ

思ヒマスガ、其ノ點御考慮ニナツタモノデアルカ、ナラナケレバサウ云フ點ニ付テ御考慮ヲ煩ハシタイト云フコトヲ御尋致シタイノデアリマス

○政府委員(村上龍太郎君) チョット是ハ速記セラレルト云ヒニクイノデスガ……
○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ止メテ……
(速記中止)
○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ……

○山本米三君 二十二條デゴザイマスガ、訴訟ヲ起ス前ニ審査會ニカケテ簡單ニ之ヲ片付ケルコトニスルト云フ方法ト思フノデアリマスガ、此ノ審査會ノ機構ト申シマスカ、ドウ云フ風ナコトニ御考ニナッテ居ラレマスカ承リタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 此ノ審査會ハ大體ノ心組デハ保險ノ方ニ能ク通ジタ人、例ヘバ商工省ノ保險ノ方ノ當局、或ハ又民事ノ關係、例ヘテ申シマスレバ司法省ノ民事局ノ關係、又森林火災保險デアリマスカラ、林業ノ方ニ精通シタ人、或ハ又大學ノ此ノ保險關係ノ方、農林省ノ又此ノ方ノ關係ノ者ト云フヤウナモノヲ以テ作ッテ參リタイト考ヘテ居リマス

○白根竹介君 大分時ガ移リマシタ、今日ハ此ノ程度デオ終ヒニ願ハレマセスカ
○委員長(伯爵堀田正恒君) 質問ハ未ダ御アリデセウカ
○子爵保科正昭君 漁船保險法案ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、其ノ第一ハ漁船保險實施計畫表ト云フモノガゴザイマス、其ノ第一頁ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、其處ニハ第一年度、第二年度トズット來マシテ、六七八九十ト十組ニナッテ居ル、此ノ組ト云フノハ組合ノ數ヲ言ツタモノデアリマ

スカラ、其ノ組合ガ初年度ニ於テハ三十出來ルト云フノデアリマスカ、三十以上ノ組合ヲ作ッテ申込ンデ來タ時ニハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(原辰二君) 此ノ三十ト申シマ

スノハ一應ノ豫定ノ數デゴザイマシテ、若シ、三十以上出テ參リマスレバ、出來ルダケ認メテ參リタイト思ヒマス、ソレデ此ノ純粹ナ保險ノ關係ダケカラ申上、ゲマスト、實ハ組合ノ數ガ殖エ又組合ノ數ト致シマシテハ、假ニ三十ナラ三十ト致シマシテモ、豫定ノ加入數ガ豫定以上ニ多クナリマスレバ、保險料ノ收入モソレダケ多クナル譯デアリマスカラ、經理モ成立ッテ參ル譯デゴザイマスガ、唯此ノ保險ノ仕組ト致シマシテハ、漁船保險組合ハ先般來カラ御説明致シマシタヤウニ、地方々々デ漁船ノ所有者相互ノ相互主義ノ保險ヲヤラセルト云フノデ、要スルニ漁業者、而モ成ルベク小サナ漁船デ漁業ヲヤツテ居ル漁業者ト云フモノヲ主トシテ考ヘル、サウ云フ小漁業者ヲ擁スル組合ヲ考ヘテ居リマスノデ、其ノ今日ノ漁業者ノ負擔力等カラ考ヘマスト云フト、組合ヲ設立スルニハ矢張り色々相談ヲシテ來テ、費用ガ掛リマス、サウ云フ費用ヲ全部組合等デヤレト云フノハ氣ノ毒デモ

アリ、又今日ノ漁業者ノ懷中工合カラ云ヒマスト困難ナコトモアラウト思ヒマシテ、是ハ一般會計ノ方デゴザイマスガ、組合ヲ作ル場合ハ、一組合ニ付テ、組合ノ設立費用トシテ二百圓補助ヲ實ハスルコトニナツテ居リマス、ソレカラ組合ガ出來レバ所謂組合ノ保險事業ヲヤリマス事業費ガ、大體年ニ平均二千圓クラキハ掛ルダラウ、斯様ニ見込ミマシテ居リマスガ、其ノ二千圓ヲ所謂組合ノ組合員カラ徴收シマス附加保險料デ、全部賄ハセルト云フコトニ致シマスレバ、其ノ附加保險料ヲ或程度高ク徴收シナケレバナラヌ結果ニモナリ、附加保險料ヲ一錢デモ高クスルト云フコトハ、是亦漁船保險組合ノ維持上困難ニモナリ、又組合員負擔ノ上カラ考ヘマシテモ、適當ニナル虞モアルト云フトコロカラ致シマシテ、組合ノ事業費ニ付キマシテハ、大體年ニ千圓ト見マシテ、ソレノ四割、詰リ四百圓ト云フモノヲ、組合ガ出來テカラ五年間ハ國庫カラ補助ヲスル、斯ウ云フ風ニ補助ノ制度ヲ伴ハセテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ關係ガアリマシテ、補助ノ分デゴザイマスカラ、初年度カラ五年度マデハ、毎年三十組合宛新設サレルト云フ計算デ以テ補助金ガ計算サレテ居リマスガ、此ノ組合ニ依リマ

シテ、二百圓マデ設立費用ガ掛ラナイトシテ、モウ少シ百五十圓デ宜シイトカ、百圓デ宜シイト云フノガ出來マスカ、ソコニ差額モ浮イテ參リマス、又事業費ノ二千圓ト云フモノハ、是ハ實際ノ見込ト致シマシテハ、又指導ノ方針ト致シマシテハ、成ルベク二千圓掛ケナイデ濟マセルヤウニヤラセタイ、又ヤリ得ルダラウト考ヘマスト、サウ云フ餘裕ガ生ジテ參リマスレバ、三十組合分ノ補助金デ詰リ三十五組合デモ、場合ニ依レバ四十組合デモヤレル、斯ウ云フ風ニヤツテ行カウト思フノデアリマス

○子爵保科正昭君 ソレデ私モ伺フノデア

リマスガ、其ノ今段々澤山ナ組合ガ設立シテ、ズン／＼後カラ申込ラスルコトニナツテ來マスト、是ハ頁ガ付イテ居リマセガ、八ノ漁船保險經理收支年度別表ト云フモノヲ御覽ニナリマス、其ノ下ノ方ニゴザイマスガ、特別會計ヘ一般會計カラ繰入レル表ガ付イテ居リマスガ、其ノ金ト云フモノハ早速足ラナクナツテ來ル、ソレカラ其ノ次ノ年度ニハドウナリマスカ、段々サウ云フトガアツテ澤山出來テ來タラバ、終ヒニハ十年後ニハ二百組合デヤツテアルモノガ、是ガ千モ二千モ入ッテ來タラ、是ハ一般トシテハ頗ル歡迎シナケレバイケナイコトデア

ルケレドモ、政府ノ豫算トシテハ是ハナカナ困難ニナツテシマフ、ソレガ一ツ、モウ一ツハ今度組合ノ地方的分布ト云フモノニ付テハ、其ノ村ノ習慣モアリ、漁村ハ浦々ニ依ッテ色々ノ習慣ヲ異ニシテ居リマスガ、アノ村ノ漁夫ハドウ云フ系統ニ屬シ、コチラノ漁民ハドウ云フ系統ニ屬シテ居ルト云フコトニナリマスカラ、地方的ニ地圖ノ上ニ分布シテ組合ニ入ルコトガ、サウハイカナイコトニナツテ、サウナツテ來ルト組合ノ數ガ殖エレバ殖エル程、又ソコデ豫算ハ色々ニナツテ來マスガ、其ノ邊ノコトニ付テドウ云フ方法ヲ以テスレバ此ノ豫定通りニ行キ、又最大限度ニ於ケル多數ノ漁船ガ救ハレテ行クカト云フコトニ付テ、二段ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(原辰二君) 最初御尋ノ特別會

計ヘノ繰入金デゴザイマスガ、是ハ先程御説明申上ゲマシタヤウニ、此ノ特別會計ハ大體十年目ニ獨立ヲ與ヘヨウト云フ建前カラ、從ヒマシテ最初九年間ハ保險料ヲ成ルベク安ク致シマシテ、其ノ保險料ノ、直接ノ保險料ノ補助ト云フ形デハゴザイマセヌケレドモ、實質的ニハサウ云フコトニマアナル譯デアリマス、…換言致シマス此ノ繰入ガナケレバ保險料ヲモウ少シ高ク取ラナ

ケレバ、一般會計トノ收支ノ「バランス」ガ取
レナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、
ソレハ當初ノ組合數ナリ、又加入ノ豫定數
ト云フモノハ、表デモ御覽戴キマシヤウニ、
比較の少ウゴザイマシテ、其ノ關係上一般
會計カラ補ヒラ付ケマセスト云フト、此ノ

料率、一定ノ料率デ以テ、又豫定ノ加入ノ
漁船數ト云フモノト睨ミ合セテ見マシテ、
收支關係ハ付カナイ、斯様ナ次第ナノデア
リマシテ、言換ヘマスト云フト十年目ト云
フトコロデ初メテ此ノ收支關係モ「バラ
ス」ガ取レ、大體此ノ料率ニ依ッテ賄ヒガ
付ク、從ヒマシテ漸次アトハ加入ノ隻數ガ、
又組合ノ數ガ殖エルニ從ッテ經理狀態ハ樂

ニナル、斯様ナ關係ニナルノデアリマシテ、
此ノ特別會計ノ繰入ト云フモノトハ直接ニ
ハ關係ハナイ譯デゴザイマス、ソレカラ其
ノ次ノ漁船組合ノ大體豫定數ハ、全國トシ
テ大體二百ト考ヘテ居リマスガ、ソレニ對
シマシテハ松村サンカラモ御尋ガゴザイマ
シタノデアリマスガ、其ノ際ニ申上ゲマシ
タヤウニ、是ハ漁船ノ分布狀態ト云フモノ
ヲ見マシテ、サウシテ此ノ漁船組合ヲ造ル
ナラバ、ドウ云フ地點ニ出來得ル見込ガア
ルカト云フコトヲ豫メ調査ヲ致シマシテ、見

當ラ付ケテ居ル譯デゴザイマシテ、先ヅ初

年度ノ分ニ付キマシテハ、此ノ資料ヲ整ヘ
マシテ御目ニ懸ケタイト思ヒマスガ、サウ
云フ風ニ漁船ノ分布ノ狀態ヲ先ヅ調べテ、サ
ウシテ組合ノ設立ノ可能性ガアルカ否ヤト
云フ點ヲモ調査ヲ致シテ、大體見當ラ付ケ
テ居ル譯デアリマス

○子爵保科正昭君 森林保險ノ方ニ付テ一
ツ伺ヒタイノデアリマスガ、森林火災國營
保險ノ話ト云フモノヲ御覽ニナッテ戴キタ
イノデアリマスガ、其ノ中ノ第十三頁ニ保
險金ノ支拂ト云フコトガゴザイマスガ、ソ
コデ森林ノ價格ガ百圓トナッテ居リマシテ、ソ
レハ保險金ヲ八十圓掛ケテ、標準金額ハ、
其ノ實際ガ八十圓デアッタ時ニ、ソレガ皆潰
減シタ爲ニ八十圓ノ損害ニナル、其ノ次ノ
式ヲ御覽ニナルト、一般保險ニ於ケル支拂

金額ハ八十圓ニ掛ケル百分ノ八十、「イコー
ル」六十四圓、斯ウナッテ居リマスガ、之
ヲ一ツ伺ヒタイノデスガ、此ノ百圓ト云フ
ノハ森林ノ價值デアリマスガ、其ノ次ノ此
ノ保險ニ於ケル支拂保險金ハ八十分ノ八十、
「イコール」八十圓、ソレト比ベマスト森林
ノ價值ト云フモノヲ政府ノ保險デハ八十圓ト
見マシテ、ソレカラ事實ニ於テハ百圓ト見
テ居ルノデアリマスガ、其ノ間ノ開キ、違

ヒ、差額ガアリマスガ、其ノ差額ニ付テノ

御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(村上龍太郎君) 是ハ必ズ此ノ
通りニナルト申シテ必ズ斯ウダト云フ、斯
ウ云フ數字デ云々ト云フノデハゴザイマセ
スガ、百トカ、八十トカ、マア百圓ノモノ
ガ八割、保險ニ掛ケテアッタト云フ風ニ極ク
簡易ニ數字ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、
數字ハホンノ假定ノ數字ダト御覽ヲ願ヒタ
イノデアリマス、ソレデ森林ノ價格ガ百圓
アレバ普通ナラバ百圓マデ附ケラレル譯
デアリマス、併シナガラ百圓マデ附ケサセ
マスルト、或ハ保險金欲シサニ火ヲツケ
ル、或ハ左様ナコトハ減多ニアリマスマイ
ガ、サウ云フ不心得ナ者ガ出ナイトモ限ラ
ナイ、サウスルト他ノ森林ニモ類焼致シ

マシテ、皆ガ迷惑ヲ致スト云フ風ナコトニ
モナリマスカラ、サウ云フ不心得ノナイ
ヤウニ、百圓マデハ附ケサセナイ、假ニ例
ヘバ標準金額ヲ八十圓ト見テアル場合ニハ、
八十圓ヲ超エテハ附ケサセナイト云フコト
ニナッテ居リマス、ソコデ普通ナラバ百圓マ
デ附ケ得ルノデアリマス、普通ノ保險ノ場
合ニハ其ノ人ハ百圓ナラ百圓附ケ得ルノニ
拘ラズ八十圓シカ附ケテ居ラナカッタ、即チ
八割ダケ保險ニ附ケテ居ッタト云フコトニナ
ル、其ノ場合ニ假ニ八十圓ノ損害ガ起ッタ

ト致シマス、其ノ價格ノ八割ダケヲ保險
ニ附ケテ居ッタト見テ宜シイ譯デアリマスカ
ラ八八、六十四圓ガ此ノ普通ノ場合ナラバ
取り前ニナルノデアリマス、コチラノ森林
火災保險、今、提案サレテ居リマス森林火
災保險ノ方デハ、百圓附ケタクトモ百圓マ
デハ附ケサセナイ、八十圓マデデナケレバ
附ケラレナイ、標準保險金額ヲ超エテハ附
ケサセナイト云フコトニナッテ居ルノデアリ
マスカラ、其ノ場合ニ矢張り六十四圓拂フ
ト云フノデハ、是ハドウモ保險ヲ附ケタ方
ニ酷ナコトニナリマス、ソコデ保險金ヲ拂
フ時ノ勘定ハドウスルカト云ヒマス、保險
金ヲ標準ニセズニ、保險金額トソレカラ標
準金額トノ割合デヤルコトニ致シマスカラ、
假ニ其ノ場合、一般ノ場合デ行ケバ百圓ノ八
割ガ燒ケタノダ、百圓ニ對シテ八十圓ノ損害
ガ起ッタノダト見ルノラサウ致シマセヌデ、
八十圓ノ、即チ地方標準金額ニ付テ八十圓
ノ損害ガ起ッタノダ、マア言葉ハ悪イカモ知
レマセヌガ、即チ全損ガ起ッタノト同ジニ見
マシテ支拂ヲスルノダト、斯ウ云フ風ニ致シマ
シテ、標準金額ヲ設ケマシテ、澤山附ケサセ
ナイト云フコトカラ出テ來ル一ツノ缺陷ヲ、
此ノ保險金ノ支拂方法デ救フヤウナコトヲ
考ヘタノデゴザイマス、チヨット説明ガドウ

ル、其ノ場合ニ假ニ八十圓ノ損害ガ起ッタ

モコンガラガツテ悪イカト思ヒマスガ、左様ナ趣旨デゴザイマス

○男爵橋元正輝君

私ハ一ツ森林火災保險ニ關聯シマシテ、チヨット御尋ネシタイノデスガ、火災ノ場合ハ損害填補方是デ出來ルト思ヒマスケレドモ、併シ樺太方面ニ於キマシテハ火災バカリデナク、蟲害ガナカナカヒドイヤウニ思ヒマスガ、是ハドウシテモ火災保險ノコトヲ御考ニナルナラバ、矢張り當然蟲害ノコトモ御考ガ浮シデ來サウニモ思ヒマスガ、政府トシテハ其ノ方面ニ付テハ何か御考ハナイノデアリマスカ

○政府委員(村上龍太郎君)

蟲害ニ色々ゴザイマシテ、松毛蟲ナド付キマシタ場合ニハ非常ニハッキリ出テ参リマスガ、又蟲ニ依ツテハ徐々ニ出テ参リマシテ、イツ一體損害ガ發生シタカナドト云フコトヲ見ルノハ困難デアルモノモゴザイマス、ソレカラ又蟲害ニ罹ル率ガドウカト云フ風ナコトヲ見ルコトモナカク、困難デアリマスシ、ソレカラ木ガ枯レナイガ、中ニ蟲ガ入ッテ居ッテ、挽イテ見ルトソレガ木ノ疵トナツテ出テ來ルト云フヤウナ風ノ場合等モゴザイマシテ、此ノ損害ノ見積リハチヨットナカク、普通ノ場合トハ困難デゴザイマシテ、無論蟲害ノ問題ハ大キナ問題トハ考ヘテ居リマスガ、

直グニ保險ノヤウナ制度ガ採レルカ採レヌカト云フコトハ、恐ラク困難デハナカラウカト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君

私ハ此ノ漁船保險ガ、家畜保險法ノ例ニ依ルコトトシタト云フ御説明ヲ水産局長ガセラレテ居ルノデアリ、漁船保險法案ノ要旨ト云フ御配付ニナツタ印刷物ノ八頁ニモサウ云フコトガ書イテアル、家畜保險法ノ例ニ依ルコトトシタ、ソレデ家畜保險法ノ例ニ依ルコトトシタ、ソレデアリ、其ノコトハ後ニ申述ベルト云フコトヲ昨日申シタノデアリマスカラ、其ノコトヲ申述ベマシテ、尙必要ニ依ツテハ政府ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、ソレハ元來此ノ相互保險制度ヲ採リマス意味ハ、是ハ共助ト云フ思想ト相互警戒ト云フ思想ト兩方ヲ含シデ、此ノ保險ノ關係ニ於テハ守ラナケレバナラナイト思フノデス、共助ノ思想ノ方面ハ、凡ソ保險ト云フモノハ根本ガ共助ノ思想デアルカラ、其ノ方ハ寧ろ相互主義ニ付テハ餘リ重點ヲ置クニハ及バナイ、相互警戒ノ方面ニ重點ヲ置カナケレバナラヌト云フコトヲ私申シタノデアリマスガ、家畜保險ニ於テハ、家畜傳染病ガ非常ニ面倒ナノデ、是ハドウシテモ組合ガ一緒ニナツテ、此ノ防止ヲシナイト云フト甚ダ危険デ

アルノデス、サウ云フ意味ニ於テハ或獸疫ト云フモノガ起ルトカ、馬ノ傳染性貧血、牛ノ傳染性流産ガ起ルトカ、色々ナ關係デ保險契約者、被保險者ノ方デ御互ニ相戒メルト云フ方面ニ、非常ニ重要點ガアルノデス、其ノ意味ニ於テ家畜保險ハ相互主義ガ宜シイト云フコトニナルノデアリマスカラ、森林保險ニ付テモ私相互主義ガ宜イト申シタノハ、ソレハ森林ニ付テハ防火ノ警備ト云フコトガアルノデス、共同警戒、其ノ方ガ非常ニ大切デアリマス、デアリマスガ故ニ動モスルト云フト超過保險ヲ惹起ス虞ガアル、即チ所謂道德的危險ト云フモノノ防止ヲスルト云フ方面カラ、相互主義ガ適切デアルト云フコトヲ申シテ居ル、漁船ニ付テハ或ハ全損保險ヲ若シ主トシテ、小サナ割合ニ於ケル分損ト云フコトヲ認メナイト云フ主義ニ致シタ場合ニ於テハ、相互警戒メルト云フ問題ハ漁船ニ付テハ起ツテ來ナイ、漁船ノ全損ト云フ時ハ昨日モ申シタ如ク、乗組員自身ガ自己ノ生命ニ關係スルノデアリマスカラ、自殺ト云フコトヲ意味スル、サウ云フコトマデモ相警戒メテ、警戒サセルト云フコトハ、是ハ起ツテ來ナイノデアリマシテ、ソレ故ニ漁船ニ付テハ相互主義ガイケンイト云フコトヲ私ハ申シテ居ルノデス、元來相

互主義ト云フコトハ、共助主義ト云フコトノ意味カラ來テ居ルノデアリマシテ、共助ト云フコトハ、結局自治ト云フコトヲ意味シテ居ル、自分達ガ互ヒノ自治的ニ營マウデヤナイカト云フコトガ思想ノ根底ヲナシテ居ル、自治ハ自力ト云フコトヲ意味シテ居リ、自力ト云フコトハ他力ニ依賴シナイト云フコトニ根柢的ノ精神ガ流レテ居ルノデアリマス、結局スレバソレハ政府ノ補助ハ要ラナイト云フコトニナル譯ナノデアリマス、ソレダカラ相互主義ト云フコトハ政府ノ補助ハ要ラナイト云フコトノ精神ガ流レテ居ルノデアリマスカラ、結局農林省ノ案ノ如ク十年後ニ於テ水産ニ付テ政府ハ補助ヲシナイデ自力デヤレト云フコトハ補助特別會計デ現レテ居ル、ソレガ漁業ノ性質ニ適切デナイ、十年ヤソコラデ漁業ト云フモノハ自力ガ出來ルモノデナイ、今日農村ヲ主トシテ居ル産業組合ノ方面デモ、政府ハ多年補助ヲ續ケテ來テ居ルノデアル、私ハ尙續ケナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアアル、サウ云フヤウナ譯デアリマスガ、況ヤ今日迄全ク糺子扱ヒニサレテ居ッタ漁業ニ對シテ、サウ云フ自力ノ精神ノ流レヲ波ムトコロノ相互主義ハ宜クナイト、斯ウ云フ意味デ私ハ申シテ居

ルノデアリマスカラ、其ノ點ハ私ガ後デ申
述ベマスト云フコトヲ昨日モ申シマシタガ、

ソレダケヲ茲ニ申述ベマシテ、政府ガ何カ
御答ヘ下サルコトガアレバ御答ヲ願ヒマ
ス、必ズシモ別ニ答辯ヲ要求スル譯デハア
リマセヌ、唯大臣ガ今日明カニ言明サレタ
ノハ、資料ヲ其ノ儘墨守シナイト云フコト
ヲ言ハレタノデアリマスガ、必ズ自力ト
云フヤウナコトヲ招來スルガ如キコトニ固
執シナイト云フ趣旨ト私ハ了解シマシテ、

私ハ此ノ程度ニ於テ質問ヲ打切りタイト思
ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ大體
是デ質問ハ終了シタモノト見テ宜シウゴザ
イマスカ

○山本米三君 又明日御續行ニナリマスノ
デゴザイマスカ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 外ニ別段御質
問ガナケレバ質問ハ此ノ程度デ打切りタイ
ト思ヒマスガ……

○松村眞一郎君 私、委員ノ懇談ノ機會ヲ
一ツ與ヘテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレハ質問中
ニデスカ、或ハ……

○松村眞一郎君 此ノ程度デモ結構デス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 討論ニ……

○松村眞一郎君 入ル前ニ一應委員各位
ノ……

○委員長(伯爵堀田正恒君) 兎ニ角、明日
委員會ヲ開クトシテ、質問ハ打切ラズニ置
キマスカ

○山本米三君 チョット一言ダケ明日僅カ
ナ時間デゴザイマスカラ、質問ヲサシテ戴
キタイトデアリマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 宜シウゴザイ
マス、ソレデハ明日ハ本會議ガアリマシタ
ラ議事散會後ニ、無ケレバ十時カラ開會致
シマス、是デ今日ハ散會致シマス

午後四時五十三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵井上 清純君
委員

公爵鷹司 信輔君
侯爵小村 捷治君
子爵野村 益三君
子爵保科 正昭君
子爵戸澤 正己君
松井 茂君
松村眞一郎君
白根 竹介君
男爵橋元 正輝君

山本 米三君
岩崎 清行君

國務大臣
農林大臣 山崎達之輔君

政府委員
農林次官 長瀬 貞一君

農林省山林局長 村上龍太郎君
農林省水産局長 原 辰二君

昭和十二年三月二十五日印刷

昭和十二年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局